

## 7 災害時の支援について

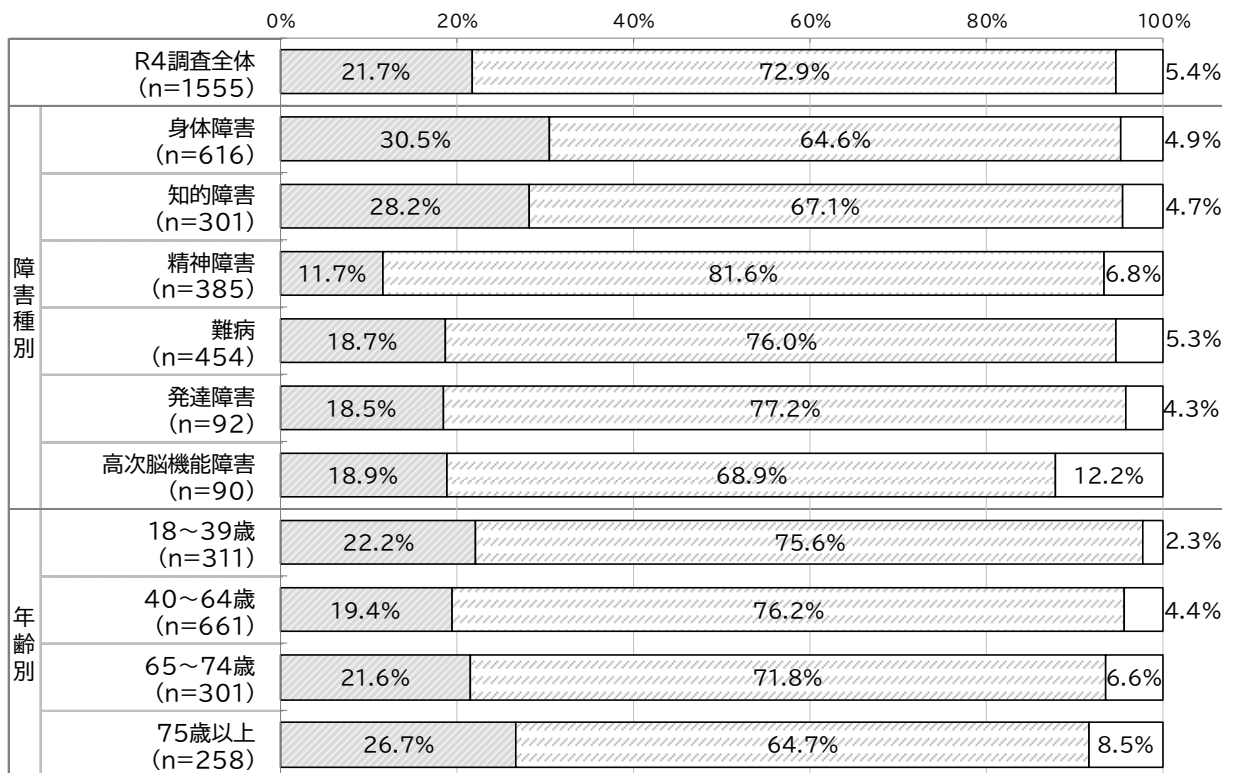
問. 区では、災害が起きた時に避難することが難しい方、希望する方の情報を掲載した「避難行動要支援者名簿」を作成し、区役所や消防署、警察などで共有して災害時に役立てることとしています。この名簿について知っていましたか。あてはまるもの1つに〇をつけてください。

### <障害者調査 問32>

「避難行動要支援者名簿」を知っていたかについて、令和4年調査全体では「知らなかった」が72.9%、「知っていた」が21.7%となっています。

障害種別ごとにとみると、「知っていた」は身体障害で30.5%、知的障害で28.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。

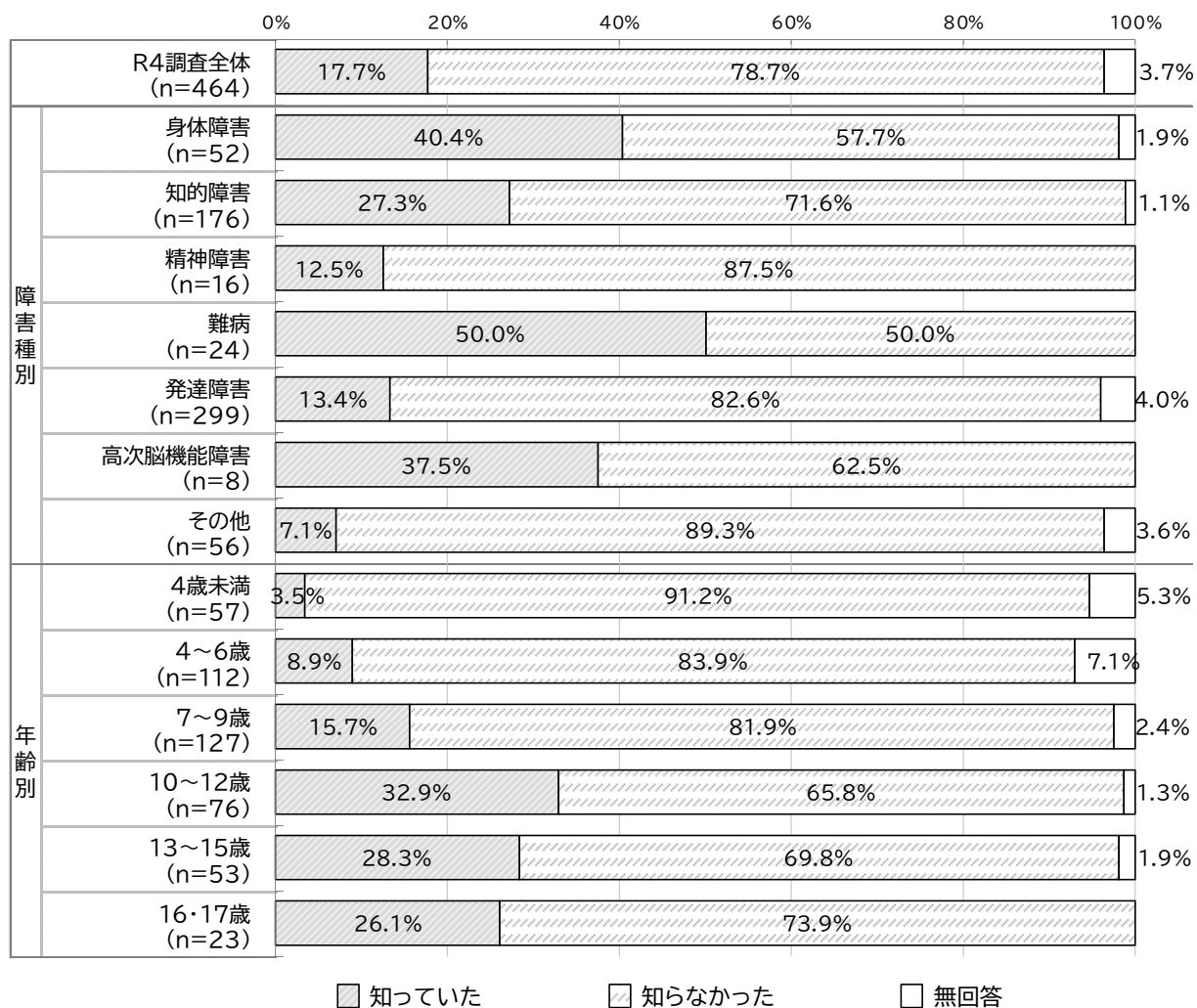
年齢による差はほとんど見られませんでした。



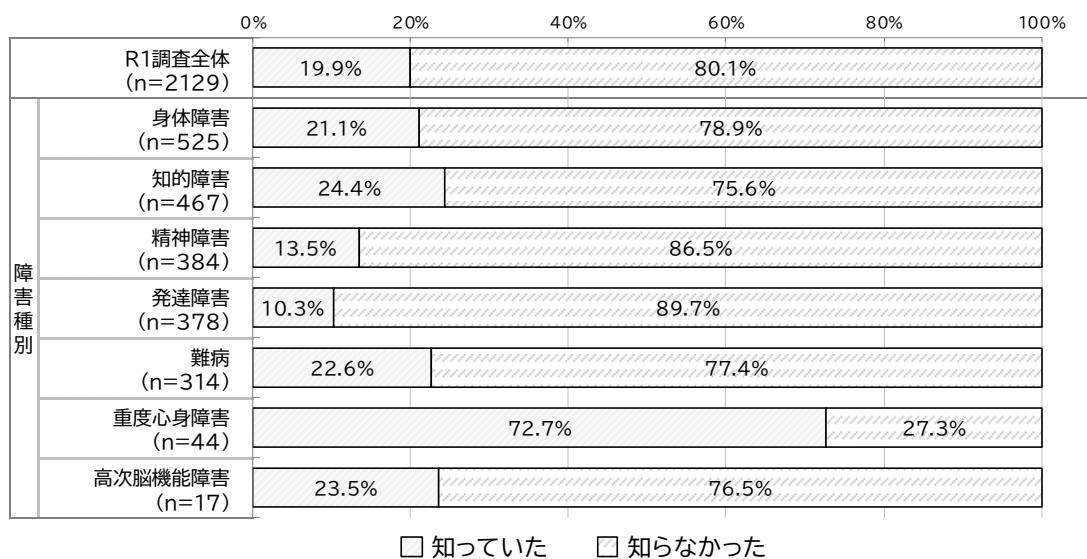
知っていた
  知らなかった
  無回答

## <障害児調査 問27>

「避難行動要支援者名簿」を知っていたかについて、令和4年調査全体では「知らなかった」が78.7%、「知っていた」が17.7%となっています。



<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



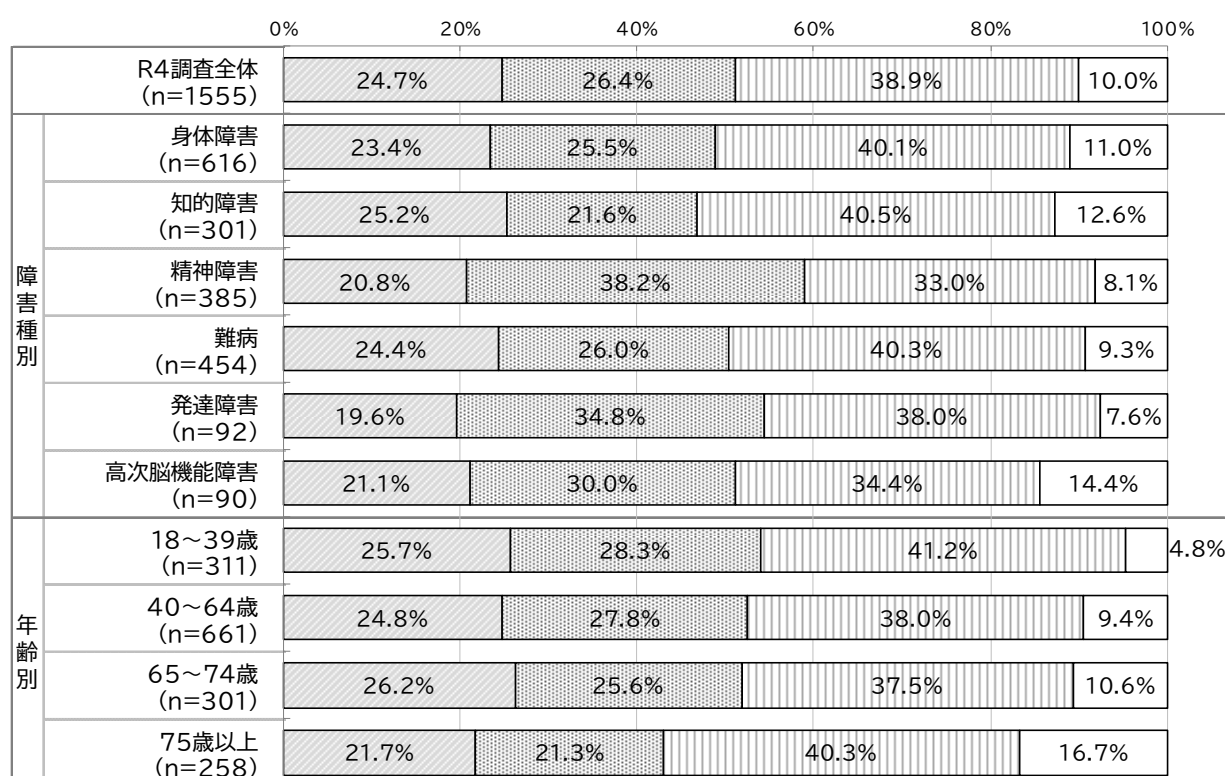
問. 地域(町会・自治会)の防災訓練に参加してみたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### <障害者調査 問33>

地域の防災訓練に参加してみたいと思うかについて、令和4年調査全体では「参加は難しいが、見学だけでもしてみたい」が38.9%と最も高く、次いで「参加したくない」が26.4%、「参加したい」が24.7%となっています。

障害種別ごとに見ると、精神障害で「参加したくない」が38.2%と他の障害種別と比較して高めになっています。

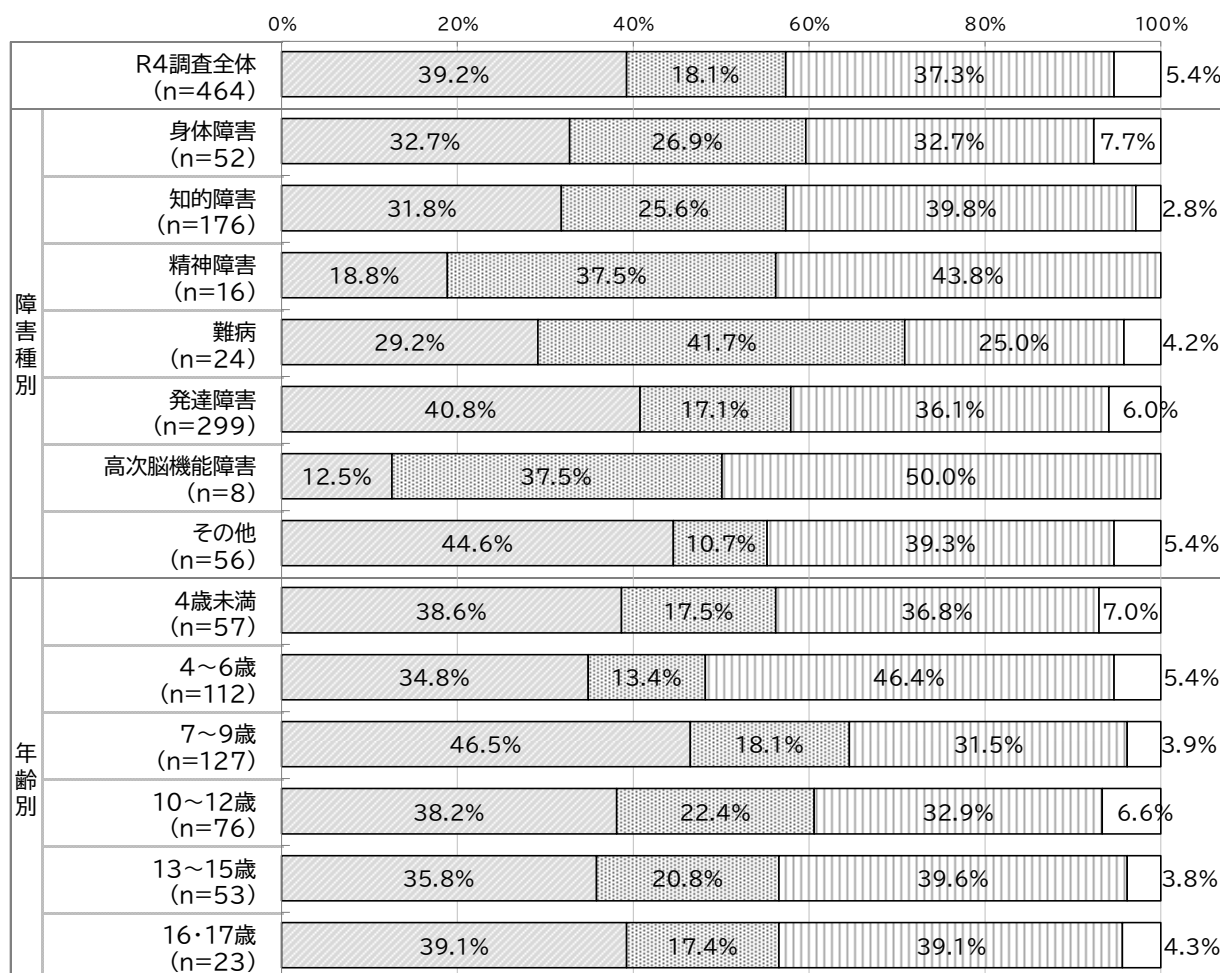
年齢による差はほとんど見られませんでした。



- 参加したい
- 参加は難しいが、見学だけでもしてみたい
- 参加したくない
- 無回答

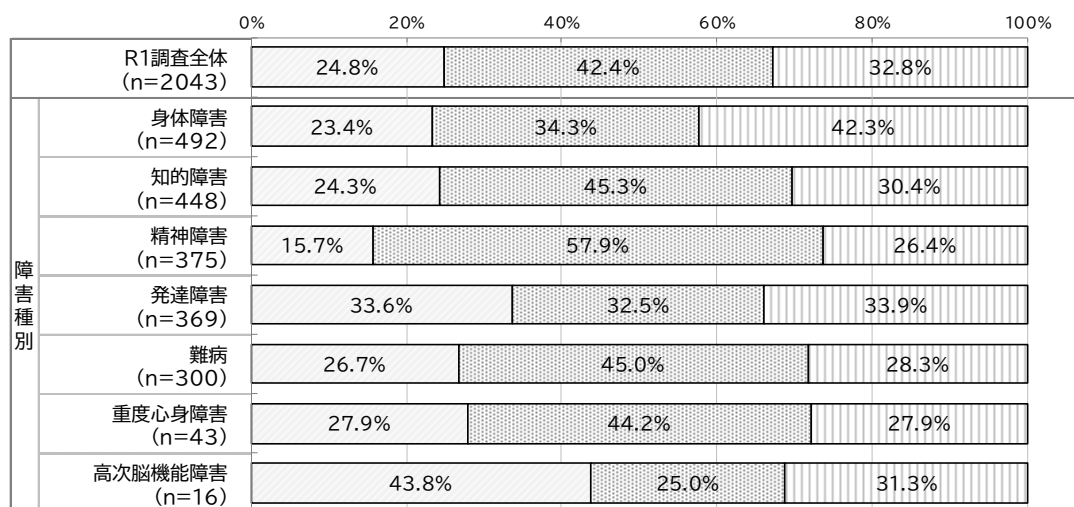
### <障害児調査 問28>

地域の防災訓練に参加してみたいと思うかについて、令和4年調査全体では「参加したい」が39.2%と最も高く、次いで「参加は難しいが、見学だけでもしてみたい」が37.3%、「参加したくない」が18.1%となっています。



参加したい
  参加したくない  
 参加は難しいが、見学だけでもしてみたい
  無回答

<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



参加したい  
  参加したくない  
  参加は難しいが、見学だけでもしてみたい

問「地域(町会・自治会)の防災訓練に参加したくない」に○をつけた方にうかがいます。  
参加したくないと思われる理由を記入してください。

<障害者調査 問33-1>

内容	件数
・面倒だから。	(20件)
・人と関わりたくないから。	(12件)
・時間がない、余裕がないから。	(7件)
・歩けないから。	(7件)
・人と関わるのが苦手だから。	(6件)
・足が不自由だから。	(5件)
・疲れるから。	(4件)
・人に会いたくないから。	(4件)
・体力不足だから。	(4件)
・仕事で忙しい、仕事がある。	(3件)
・気が向かないから。	(3件)
・わからない。	(3件)
・必要ないから。	(3件)
・忙しいから。	(3件)
・視覚障害があるから。	(3件)
・目が不自由だから。	(3件)
・身体が不自由だから。	(3件)
・興味がないから。	(3件)
・人と関わるのが面倒だから。	(3件)
・以前参加したことがあるから。	(2件)
・参加できないから。	(2件)
・目が見えないから。	(2件)
・理解が難しい、できないから。	(2件)
・参加したくないから。	(2件)
・人が怖いから。	(2件)
・人との関わりが苦痛だから。	(2件)
・外に出て行くのが面倒。	(2件)
・無気力。	(2件)
・知らない人と関わるのが苦手だから。	(2件)
・できない。	(2件)
・マンションで防災訓練を体験できる。	(2件)
・歩くのがつらいから。	(2件)
・人と関わるのがこわいから。	(2件)

- ・歩行やしゃがむ等の行動が難しく、躁鬱の病気がある事を理解されてない。
- ・本人が理解不能。
- ・大きい声を出したり、人の声に反応して、まわりの目がきになるので参加できない、参加したくても。
- ・大騒ぎになる。
- ・知っている人が一人も居ないところでは何をしていいかパニックになるから。
- ・知らない人がたくさんいそうで怖いから。
- ・知らない人が多いところは不安になるので。
- ・知らない人が大勢いる場には出たくない。
- ・知らない人との交流が苦手。
- ・知らない人と会うのがストレスになるため。
- ・知らない人が苦手なため。
- ・他人とのコミュニケーションがしんどい。
- ・他人との関わりが面倒な時があるし、他人が信用できないから。騒がしいと精神的に苦痛になる時がある(パニック発作)。
- ・他人と行動することが苦痛。
- ・他人に障がいを知られるのが怖い。
- ・体が思うように、動かせない。
- ・体がついて行けない。
- ・体が思うように動かない。
- ・前に参加したことがあります、いろいろ家の事をやっている、時間ありません。
- ・前自治会長に「来ないように」と言われたから。
- ・足が思うように動かないので他人についていけない。
- ・足が人工関節なので長く立ってられない。
- ・足に障害。
- ・足や目が不自由なため。
- ・人と関わるのがつらいから。
- ・他の人と同じ行動が難しい(スピード等)。
- ・体が動かないため。
- ・体が不自由で、両膝が人工関節、脊柱管狭窄症の手術を2回受けており、常に体が痛いため。
- ・障害者として目立ちたくない。
- ・親の介護で時間がない。
- ・身体の自由がきかないため。
- ・身体が自由に動かないため。外出は車イス生活のため。
- ・身体的に欠陥あり。
- ・身体的に無理です。



- ・人嫌い。見た目では差別する人、トラブルメーカーの様に扱う人、目ではなく障害の部分で驚いた顔で見ながら喋る人などに会いたくない。
- ・精神的な病気の為、人付き合いが難しいと思われるため。
- ・体調不良のため。
- ・集団行動が難しいため。
- ・住んでいるマンションが建設される時に一部の戸建て住民が反対運動をしていたと聞いた。あのマンションの住人だと知れて攻撃されたくない。
- ・住んでいるマンションの訓練に参加しているため必要性を感じない。
- ・初めて会う人と打ち解けづらいため。
- ・小規模だったら参加したい。(4~5人くらい)大勢だと緊張するから。
- ・障害の理解のない地域の方に存在を知られたくない。
- ・障害はオープンにしていない、通常の人と同じ訓練をしなくてはいけないから。
- ・障害者として出たくない。
- ・対人関係に不安。
- ・対人障害があるため。
- ・時間が無い。平日は仕事がある。
- ・自治会に入っていないし、以前に参加した事があるから。
- ・自治会の人間関係が、少々わずらわしい面があるので。
- ・自治会の役員をしていた時に、防災センターに行ったことがあります。
- ・自治会役員から嫌がらせを受けているため。
- ・自分にできるか不安。
- ・自分の住んでいる所で防災訓練をしている。
- ・自力で外出できないため。
- ・車イスなので、体の自由がきかないため。
- ・実際に災害になればパニックになり、行動がおこなえない部分が生じると思っている、自分で出来る行動を。
- ・車イスのため、移動が出来るわけではない。
- ・車イスのため、他の人の迷惑になってしまうから。
- ・車イス生活で左半身マヒなので参加は難しいのです。
- ・車イス利用者であること、日本語でのスムーズな会話が難しいこと。
- ・車椅子とトイレが近いので無理。
- ・若い世代がいないから。
- ・手が不自由のため。
- ・手足が不自由な為出来ないことが多く人の中には行きたくない。
- ・周囲、近所に理解してもらうのに説明しなければならないから。
- ・集合住宅のため知人が少ない。話し相手がほしい。
- ・人と接することは、今は無理、不安定になる。

- ・無理だと思う。
- ・目に障害があるので行くのも見るのも大変だから。
- ・人が居る所が嫌だから。
- ・人が集まる所に行きたくないし、難しい。動画配信にしてほしい。
- ・人が多いのが精神的にくるのでなるべく行きたくない。
- ・人が多い所に行くのがこわい。
- ・人ごみの中に行きたくない。声が大きいとストレスになる。
- ・人とのかかわり。
- ・人とかかわりたくない。足・腰が悪いため参加したくない。
- ・人とコミュニケーションをとるのが難しいため。
- ・人との関わりが苦手なのと、障害に応じて説明を分かりやすくなっていないから。
- ・人の中に入りたくない。
- ・障害があるから。
- ・「障害者」としては参加したくない。一般と同じなら参加する。
- ・防災訓練が苦手。
- ・①めんどろだし。②階段降りたり、大変そう。③役に立つか疑問。
- ・1人では参加できない。
- ・1度参加したことがあります。中途失聴の私は(手帳は持っていません)何も聴こえず参加は無理と思いました。又、今は杖なしでは歩行困難なので直更です。
- ・40代独身で家にずっといると近所の目が気になるので、町会等の行事には参加したくない。
- ・グループホームですで行なっている。
- ・あまり人目につきたくない。
- ・あまり歩けないから。
- ・あまり役立ってない。
- ・いざという時、家族に電話して何とかかなと思っているから。
- ・いつも同じ顔ぶれ。(ほとんど老人ばかり)。もっと若い人達に参加してもらえよう工夫が必要。
- ・いつ何時発作起こすかわからないのと体力的に難しい。
- ・今は難しい。気力がない。
- ・いやなことを言われそう。
- ・動くのが大変。
- ・うつがひどい時は、何も出来ない事があるから。
- ・うつ病。
- ・うまく周りとのコミュニケーションが取れないから。
- ・関わりたくない。江東も東京も日本も大嫌い。

- ・体がだるいつらい。
- ・健常者ではないからしたくないです。
- ・コミュニケーションが難しいから。
- ・コミュニケーション取るのがむずかしい。(知らない人と)。
- ・コロナ禍で歩行が困難になり、参加したくない。
- ・ご近所さんとコミュニケーションが苦手。
- ・誘われることがないからわからない。言われてもわからない。
- ・騒いだり落ち着きがなく、迷惑をかける。いつもと違うことが苦手。
- ・しなければと思いますが、現在いるマンションの住人とのコミュニケーションがあまりないので、無用心の方が多すぎて、何となく参加しづらい。
- ・邪魔になる。
- ・そのような機会がありません。
- ・それどころでない。
- ・タワーマンションに住んでいる為、階段で1Fまでおりの事が体調を悪化させてしまう可能性があるため。
- ・つらそう。
- ・どういう内容か、どういう人達が参加するか分からないから。
- ・特にない。
- ・猫がいるため避難することは難しいので、参加しても意味がないと思っています。
- ・ひきこもりのため。
- ・マンションにて防災訓練を毎年1回実施しているため。
- ・マンション住まいなので参加する仕方が分からない。
- ・マンション全体で自治会に数年加入していたがお金をとられるだけでいろいろ問題もあり脱会した。町会でやらなくてもマンションで毎年やっている。町会、自治会考え方が違う。
- ・みなさんと一緒に行動するのが難しいため。
- ・難しそう。
- ・面倒だ。その日の体の具合による。
- ・面倒に思われるため、他の方法たとえばリモートとかで。
- ・面倒くさい。ただ、災害時に役立つ物(道具、食料品など)のセットをタダでくれるのなら参加する可能性はある(食事つきあるいは弁当)。
- ・面倒くさい。体がつらい。
- ・もうすぐ引越するので。(他県へ)。
- ・わざわざ手話通訳者を呼ばなければならない。
- ・やってない。
- ・以前には数回参加したが、現在、下肢治療中(両脚)(弾性包帯の二重巻き)で、歩きづらいため。

- ・以前より何回も参加しており、十分に理解している。
- ・意欲が無い(特に、うつ状態のとき)。
- ・移動が(歩行)難しい、人混みが苦手、何をしているのかわからない。
- ・移動が大変。
- ・移動速度などの面で集団行動にご迷惑となる場合もありそうなので。
- ・一緒の行動が出来ない。
- ・一人で参加したら、何を言われているのか聞きとれないので。
- ・何もできないため。
- ・何も理解できない。
- ・何度か行った、でも何だかただ見ているだけで帰って来まし
- ・家族の介護手伝いを優先したい。
- ・過去に町会の行事に参加したが障害に対しての理解が全くなく、放っておかれて困ったから。
- ・会社で強制的に参加させられているので。
- ・階段を歩いて降りるのは無理。
- ・外にでたくない。
- ・外に出て活動するのが難しいから。
- ・外出が出来ない。
- ・外出時は介護が必要。
- ・気持ちに余裕がなく面倒に思う。
- ・休みの日はゲームをしていたい。
- ・休みの日は休みたい。
- ・休みは家からでない。
- ・去年の始めからパーキンソン病となりいろいろ整理してきました。うつのなところもあり人と接することを嫌がります。
- ・近所の方と挨拶以上の交流をしたくないから。
- ・近所付き合いが苦痛、疲れる、関わりたくない。
- ・近隣住民がつめたい、いじわるな人がほとんどなので、極力関わりたくないから。
- ・苦手。
- ・訓練が理解出来ない。
- ・健常者がバカにして差別するからです。
- ・健常者向けの防災訓練なため。
- ・嫌な人々が多く不快。
- ・見えづらいので危ないし、一人で参加するのに不安がある。
- ・見えないから。
- ・現在は車イスのため何も出来ませんので。
- ・現在昼間活動することが難しいため。

- ・言葉が通じない。
- ・個人情報とプライバシーが有る。
- ・江東区と実家とで行ったり来たりしている。
- ・行きたくない。
- ・行く事がたいへん。行っても何も出来ない。
- ・行けない。
- ・高齢の為歩けない。
- ・高齢のため。
- ・高齢者の集まり的になり昔話が多くなるのでは？と、前向きな話がないのでは？。
- ・椎間板ヘルニアで腰と足が痛いのでずっと立ってられない。
- ・骨折して経過が良くないので。
- ・今は体力と気力がない。
- ・差別。
- ・災害が起きた時は、マンションの上に逃げるだけだから。
- ・参加したいが体が不自由なため、無理。
- ・参加したいけど迷惑をかけると思うので。
- ・参加したい理由がないため。
- ・参加したくないというよりは杖を使ってゆっくり歩行しているような状態なので無理です。
- ・参加しますが、内心では面倒くさい。
- ・参加するのが面倒です。知らない人と会いたくない。
- ・参加する意欲がないから。
- ・参加する理由が分からない。
- ・参加できるような体力がないため。
- ・参加の情報が伝わって来ない。
- ・参加は難しい。
- ・参加も見学も難しい。
- ・参加出来ない。
- ・酸素の機械の重量があるので、階段の移動等でご迷惑をかけてしまうので。
- ・仕事が多忙のため。地域住民との顔合わせに抵抗があるため。
- ・仕事と家事で精一杯。
- ・施設に入所しているという事で差別があるのでは？
- ・子の学校の防災訓練に参加した事があるが、形式的で実際に役に立つ訓練でなかった。
- ・支援が必要でないから。
- ・視覚障害と腰痛のため訓練に参加出来ない。
- ・視覚障害者なので不安で参加できない。

- ・視野障害があり人ごみが苦手。
- ・知らない人と長時間共に過ごすのは苦痛だから。
- ・知らない人ばかりだから。
- ・知らない人ばかりなので、親が参加しているの。
- ・知らない人達と行動するのが不安だから。家族と一緒になら少しは安心だと思うが、あまりのり気ではない。
- ・知り合いがおらず、訓練のハードルが高いため。
- ・地域で仲間はずれされていて何も教えてもらえない。ほしい情報が何1つ入ってこないから。
- ・地域で本人を受け入れが難しい。
- ・地域の人とのつながり、イベント等に参加したい。
- ・地域の人との関わりあいの必要性を感じられない。できれば、関わりたくない。
- ・なかなか1人では外に出ない。
- ・町会が活動していないから。
- ・町会や自治会の役割を担う自信がない。
- ・聴覚障害があるため、人の話しが分かりづらいので。
- ・長い期間地域に居住しているが、知り合いもいない。車イス利用で移動が大変であり、防災訓練の内容もはっきりしないと参加しようと思わない。
- ・電動カートでの参加が可能か疑問？訓練場所に行く事も考えると不安なので。
- ・都営住宅に住んでいるので、係の仕事が巡ってくる。隣人が良い人でないので困っている。
- ・土、日も仕事のため、時間的に難しい。
- ・土、日曜日は仕事が休む事が出来ない。
- ・動きたくない。
- ・動くのと疲れやすいから。
- ・動くのが、しんどい。
- ・動くのが苦手。
- ・動作が遅い。
- ・同じ事が出来るか心配。
- ・特になし。
- ・特に困っていない。
- ・日本人がきらい。
- ・入院中でどれもあてはまらない。
- ・入居1年で、自治会の役員をさせられて、何もわからず。大変に多忙である。
- ・年上の原因で、参加ができない。
- ・発作があるのでいつも親と一緒にです。時々発作有り。
- ・疲れて気がのらない。

- ・非日常が苦手で、支援してくれる人がいないから。
- ・病院の通院があつたり、足が悪いため。
- ・病気持ち(精神疾患)があからさまになるので。
- ・不安感が募るので体調不良になるから。
- ・普段と違うことは苦手。
- ・聞こえないので、次回めげずに参加します。
- ・閉鎖的、同調圧力、年功序列が強いなど、町会にいいイメージがないため。
- ・変に気を使われても困るし、私を助けたせいでケガや死亡させても責任とれないから(本番で)。
- ・歩くのが大変だし、疲れるから。
- ・本人の行動に全介助が必要なため。
- ・毎回参加になりそうだから。
- ・毎度同じ訓練、毎年参加人数減少。
- ・役員になりたくないの。
- ・予定が合わない。
- ・余裕がない。
- ・落ち着いて参加するのは無理。防災訓練の意味が理解不能。
- ・理解が出来ない。コミュニケーションが難しい。
- ・理解が難しく、指示も入らない。
- ・理解されないと思うの。
- ・立ちっぱなしなど足を使うのはその後がつかれるの。
- ・立っている時間が長いのは困難です。
- ・両親と一緒に生活しているため住宅の人にあまりなじめていないため。
- ・話が長い。
- ・話が長く立っている時間が長い。実際の訓練までに疲れてしまう。
- ・多発血管炎性肉芽腫症の為に高次脳機能障害を引きおこし無理です。

<障害児調査 問28-1>

内容	件数
・忙しい、時間がないから。	(10件)
・面倒だから(人付き合いなど)。	(8件)
・迷惑をかけてしまうから。	(4件)
・人の目が気になるから。	(3件)
・関心がない。	(2件)
・あまり参加する意味を感じない。	(2件)
・家族保護者の負担が大きい。	(2件)
・「したくない」というより、してもいいくらいの感覚。	
・自宅でやっている訓練で充分なので。	
・あまり関わりたくない。	
・いわゆる「町会・自治会」は昔の隣組で、民主的正統性が欠如しているから。	
・おそらく土日が多いと思われるが、土日は仕事がちとなるため。	
・コミュニケーションをとりにくい。	
・じっとできないため。	
・どちらとも言えない。自分の今後のために参加するのは良いが、交流がなく、住んでいる人の顔をあまり知らないので、いざと言う時に協力しあえるのか分からない。	
・慣れない場所はパニックになる。周りの目を気にしてつかれる。	
・パニックになります。本番が怖いです。	
・マンションで災害対策を実施しているから。	
・みんなと合わせて動いてくれない。	
・学校の防災訓練に参加しているため。	
・慣れない場所等で他の人と合わせたり静かに出来ないのも、白い目で見られる事が多過ぎ、辛いので避けています。	
・慣れない状況でパニックになるため、参加することが難しい。	
・近所に知られたくない。	
・訓練のジャマになってしまうことで迷惑がられて肩身のせまい思いをすることになるため。	
・兄弟の方が障害が重く、見た目で見えないため、ジロジロ見られる。	
・見通しが立たない事が苦手なため、新しい所には行きたがらない。	
・座位がとれないので車イスに乗せるだけで一仕事、私1人ではできない。(抱きかかえは全て主人orヘルパーさん)。	
・最近マンションなど耐震性があれば、外に出ないほうが良いと聞き、そうであれば、訓練参加は必要ないため。	

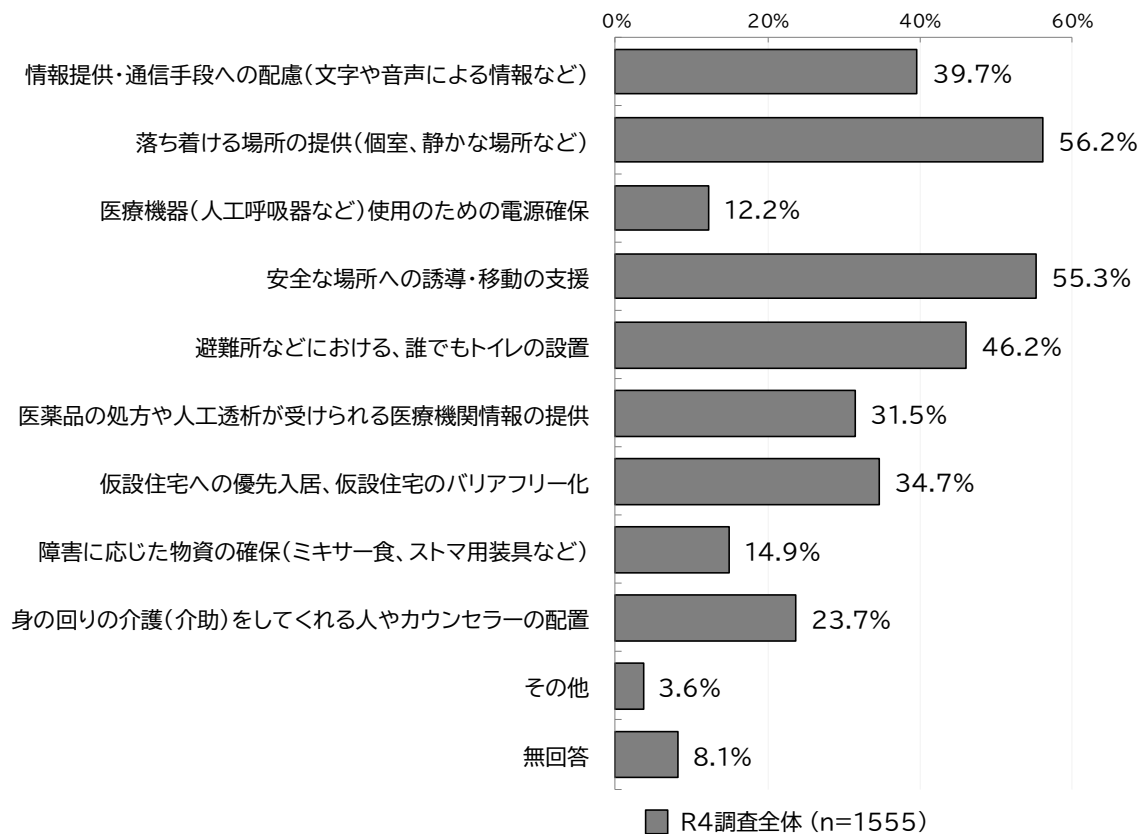


- ・参加したいが、さわいだり、帰ろうとしたり迷惑をかけそうで参加を考えてしまう。
- ・参加したい気持ちはあるが、実際参加するのがワンオペ(障害児と幼児)なので難しい。
- ・仕事や体調等で、タイミングを合わせるのが難しい。
- ・子どもが長時間、待ってられないから。
- ・子どものことで引け目がある。
- ・子連れでの参加は難しいし、参加したところで、子に手がかかりちゃんと出来るはずもない。注目もされたくない。
- ・子供が慣れない人や場所だとパニックするため。
- ・事前に内容、参加人数、場所を明確であれば参加可能。初めての物事に混乱してしまうため。周りの方々の理解もないとなかなか難しい。
- ・時間がない。子供と一緒にとなると大変なので気が重い。
- ・時間を作るのが大変。子供がうるさい。
- ・自治会への勧誘がありそうで面倒。
- ・実際にあまり役に立たない避難訓練程度で時間がとられるだけ。
- ・周りの理解が不十分。参加する勇気がありません。
- ・障がいなど関係なく今までそういったことに参加したこともないから。
- ・障害が重いため無理。
- ・障害児がいると難しいし、障害者がいる事を仮定しての訓練ではないと思う。
- ・親の私が人づき合いが面倒に感じるから。
- ・人目が気になるので障害者のみなら良い。
- ・説明が大変そうなので躊躇してしまう。
- ・他の兄弟もつれて行かないといけないので大変。(母1人、子4人)。
- ・多動のため参加が難しく、高齢の方々はあまり理解していただけていないため、疎ましく感じる。
- ・大人しく見学も難しいため。
- ・大変だから(障害者をつれて参加できるような助け支援があるならしてみたい。
- ・地域の理解不足、参加・努力の強制があると思われるため。
- ・潮見は年配層が多く、息子(多動系)への理解が難しく居心地が悪いことがほぼ見えているので。
- ・弟がいて(愛の手帳3度)参加できない。
- ・入居した賃貸マンションで、何の説明もなく、勝手に自治消防班(且つ班長)に入れられていて、不信感しかない。
- ・落ち着いて参加するのが難しいと思われるため。

問. 災害時には、どのような支援が必要ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

### <障害者調査 問34>

災害時に必要な支援について、令和4年調査全体では「落ち着ける場所の提供(個室、静かな場所など)」が56.2%と最も高く、次いで「安全な場所への誘導・移動の支援」が55.3%、「避難所などにおける、誰でもトイレの設置」が46.2%となっています。



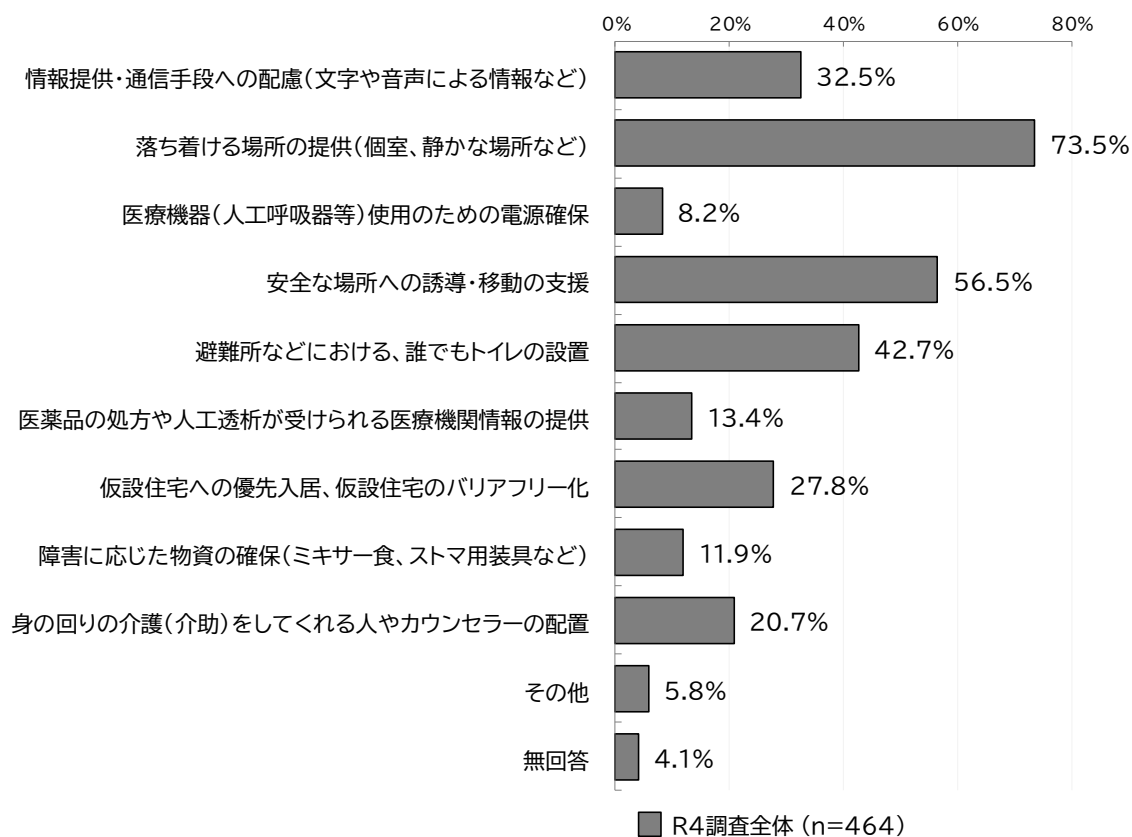
障害種別ごとにみると、難病で「医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供」が42.1%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、知的障害で「身の回りの介護(介助)をしてくれる人やカウンセラーの配置」が38.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、75歳以上で「安全な場所への誘導・移動の支援」が69.8%と他の年齢と比較して高くなっています。

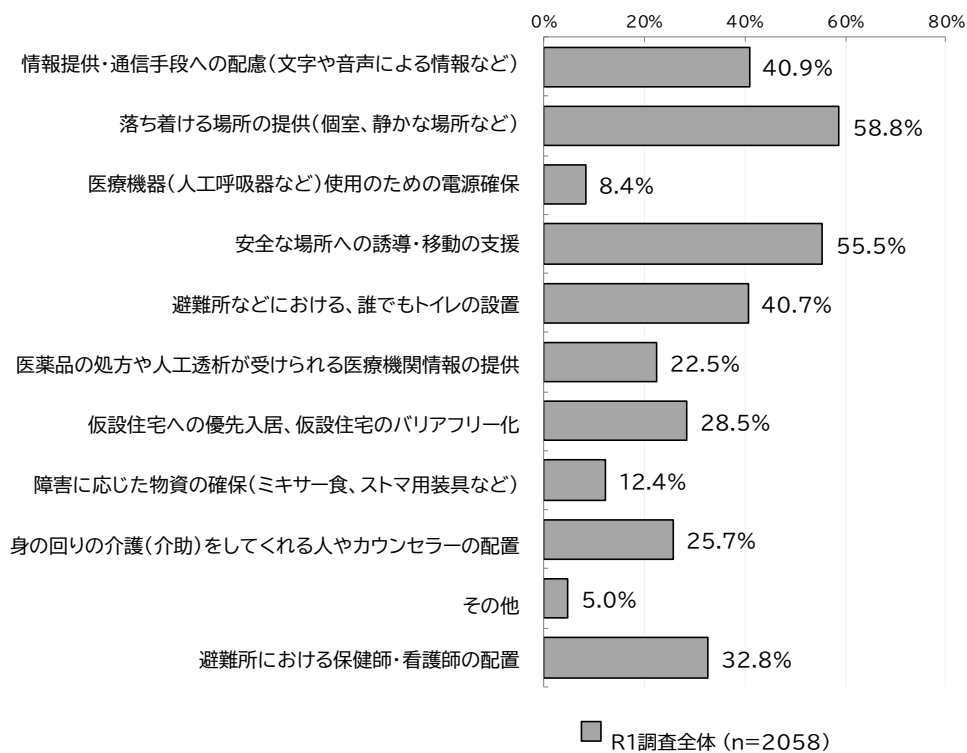
1段目 人 2段目 %	合計	問34.災害時に必要な支援											
		(情報提供・音声による手段への配慮)	落ち着ける場所の提供(個室、)	医療機器(人工呼吸器など)使用	安全な場所への誘導・移動の支援	避難所などにおける、誰でもト	医薬品の処方や人工透析が受け	仮設住宅への優先入居、仮設住	障害に合わせた物資の確保(ミキ	身の回りの介護(介助)の配置	その他	無回答	
障害種別	身体障害	616 100.0%	294 47.7	301 48.9	99 16.1	393 63.8	315 51.1	185 30.0	242 39.3	125 20.3	169 27.4	21 3.4	42 6.8
	知的障害	301 100.0%	105 34.9	200 66.4	29 9.6	208 69.1	133 44.2	68 22.6	114 37.9	42 14.0	115 38.2	12 4.0	25 8.3
	精神障害	385 100.0%	128 33.2	267 69.4	27 7.0	180 46.8	159 41.3	127 33.0	129 33.5	43 11.2	93 24.2	18 4.7	31 8.1
	難病	454 100.0%	169 37.2	223 49.1	73 16.1	225 49.6	205 45.2	191 42.1	153 33.7	84 18.5	81 17.8	13 2.9	41 9.0
	発達障害	92 100.0%	33 35.9	66 71.7	9 9.8	46 50.0	28 30.4	25 27.2	32 34.8	12 13.0	23 25.0	8 8.7	10 10.9
	高次脳機能障害	90 100.0%	37 41.1	44 48.9	8 8.9	50 55.6	43 47.8	20 22.2	36 40.0	12 13.3	23 25.6	7 7.8	11 12.2
	年齢別	18~39歳	311 100.0%	105 33.8	198 63.7	32 10.3	181 58.2	126 40.5	100 32.2	104 33.4	46 14.8	84 27.0	16 5.1
40~64歳		661 100.0%	243 36.8	393 59.5	79 12.0	316 47.8	302 45.7	226 34.2	231 34.9	96 14.5	145 21.9	25 3.8	49 7.4
65~74歳		301 100.0%	129 42.9	154 51.2	40 13.3	173 57.5	140 46.5	94 31.2	111 36.9	44 14.6	62 20.6	8 2.7	29 9.6
75歳以上		258 100.0%	132 51.2	119 46.1	36 14.0	180 69.8	142 55.0	65 25.2	85 32.9	41 15.9	75 29.1	4 1.6	24 9.3

## <障害児調査 問29>

災害時に必要な支援について、令和4年調査全体では「落ち着ける場所の提供(個室、静かな場所など)」が73.5%と最も高く、次いで「安全な場所への誘導・移動の支援」が56.5%、「避難所などにおける、誰でもトイレの設置」が42.7%となっています。



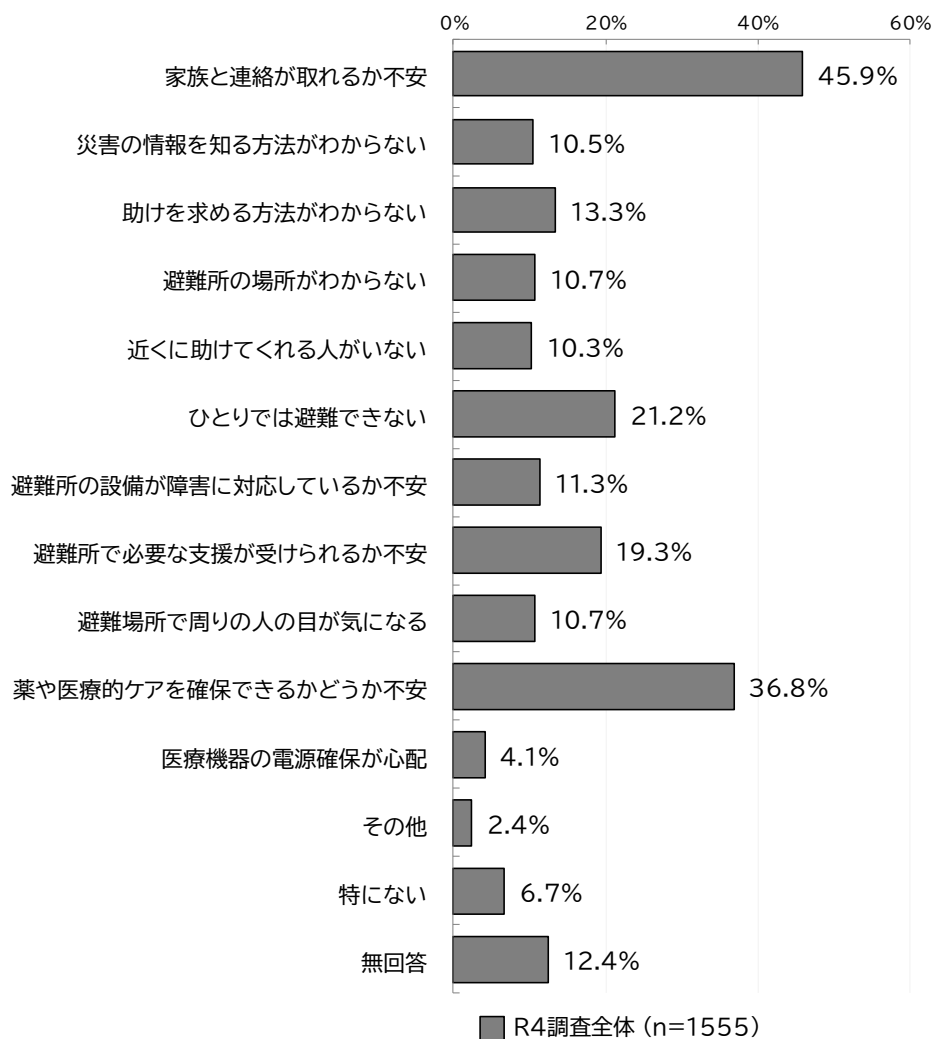
<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



問. あなた(ご本人)が、地震などの災害が発生した時に困ることや不安なことは何ですか。  
あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

### <障害者調査 問35>

災害発生時に困ることや不安なことについて、令和4年調査全体では「家族と連絡が取れるか不安」が45.9%と最も高く、次いで「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が36.8%、「ひとりでは避難できない」が21.2%となっています。



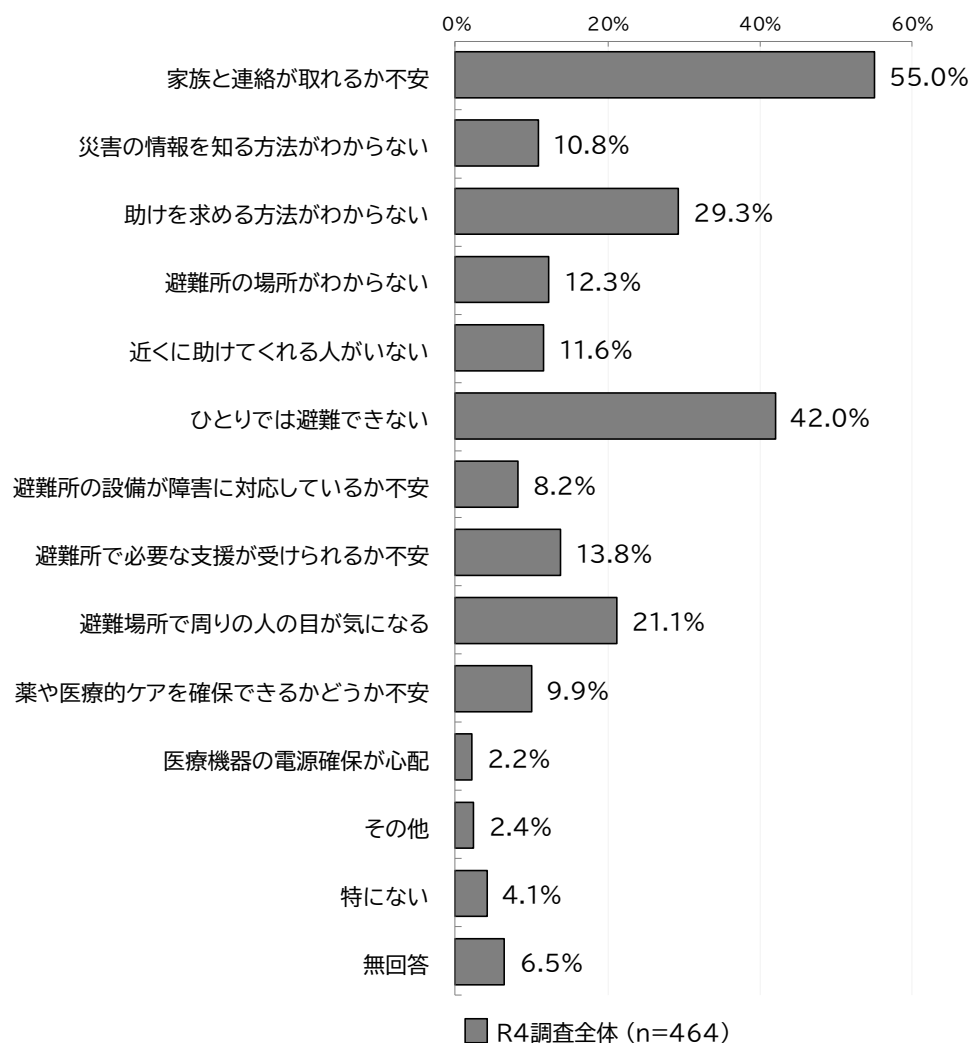
障害種別ごとにとみると、知的障害で「ひとりでは避難できない」が41.9%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が、精神障害と難病で同率の46.0%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにとみると、18～39歳で「家族と連絡が取れるか不安」が56.6%と他の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問35.災害発生時に困ることや不安なこと														
		不安 家族と 連絡が 取れる か	が災 害の 情報 を知る 方法	か助 けを 求め る方 法が わ	な避 難所 の場 所が わか ら	が近 くに 助け てく れる 人	いひ とり では 避難 でき な	対避 難所 の設 備が 不安 に	受避 難所 で必 要な 支援 が	目避 難所 で周 りの 人の	で薬 や医 療的 ケア を確 保	心医 療機 器の 電源 確保 が	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
障害 種別	身体障害	616 100.0%	247 40.1	64 10.4	63 10.2	64 10.4	67 10.9	164 26.6	103 16.7	133 21.6	42 6.8	192 31.2	33 5.4	21 3.4	39 6.3	95 15.4
	知的障害	301 100.0%	153 50.8	42 14.0	81 26.9	37 12.3	28 9.3	126 41.9	30 10.0	53 17.6	33 11.0	51 16.9	7 2.3	4 1.3	17 5.6	44 14.6
	精神障害	385 100.0%	177 46.0	37 9.6	50 13.0	48 12.5	48 12.5	42 10.9	29 7.5	67 17.4	78 20.3	177 46.0	8 2.1	8 2.1	21 5.5	51 13.2
	難病	454 100.0%	212 46.7	36 7.9	33 7.3	34 7.5	35 7.7	78 17.2	48 10.6	87 19.2	38 8.4	209 46.0	26 5.7	10 2.2	29 6.4	51 11.2
	発達障害	92 100.0%	43 46.7	9 9.8	20 21.7	9 9.8	7 7.6	15 16.3	7 7.6	19 20.7	23 25.0	21 22.8	3 3.3	5 5.4	10 10.9	9 9.8
	高次脳機能障害	90 100.0%	36 40.0	10 11.1	6 6.7	13 14.4	10 11.1	19 21.1	9 10.0	19 21.1	4 4.4	25 27.8	4 4.4	1 1.1	5 5.6	21 23.3
	年齢 別	18～39歳	311 100.0%	176 56.6	31 10.0	60 19.3	38 12.2	33 10.6	73 23.5	33 10.6	60 19.3	53 17.0	104 33.4	10 3.2	10 3.2	13 4.2
40～64歳		661 100.0%	302 45.7	70 10.6	82 12.4	60 9.1	74 11.2	110 16.6	65 9.8	119 18.0	76 11.5	264 39.9	26 3.9	15 2.3	48 7.3	74 11.2
65～74歳		301 100.0%	128 42.5	27 9.0	35 11.6	32 10.6	30 10.0	64 21.3	40 13.3	66 21.9	17 5.6	116 38.5	18 6.0	10 3.3	27 9.0	34 11.3
75歳以上		258 100.0%	100 38.8	33 12.8	28 10.9	31 12.0	20 7.8	80 31.0	36 14.0	51 19.8	17 6.6	81 31.4	10 3.9	3 1.2	16 6.2	49 19.0

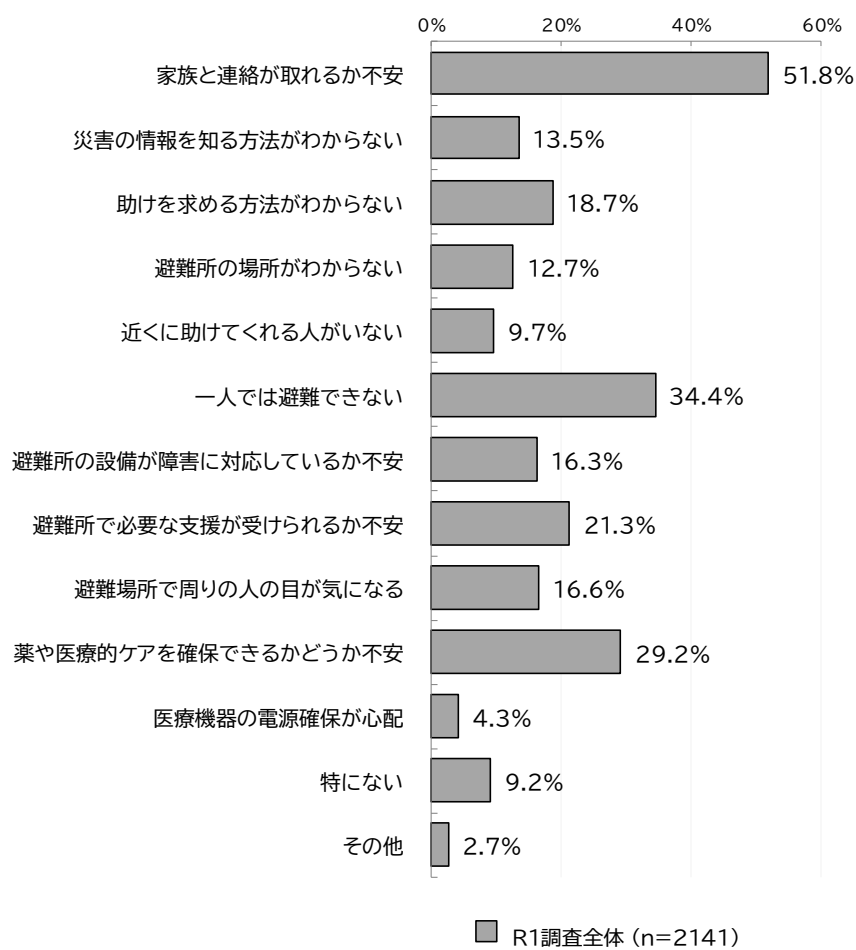
### <障害児調査 問30>

災害発生時に困ることや不安なことについて、令和4年調査全体では「家族と連絡が取れるか不安」が55.0%と最も高く、次いで「ひとりでは避難できない」が42.0%、「助けを求める方法がわからない」が29.3%となっています。





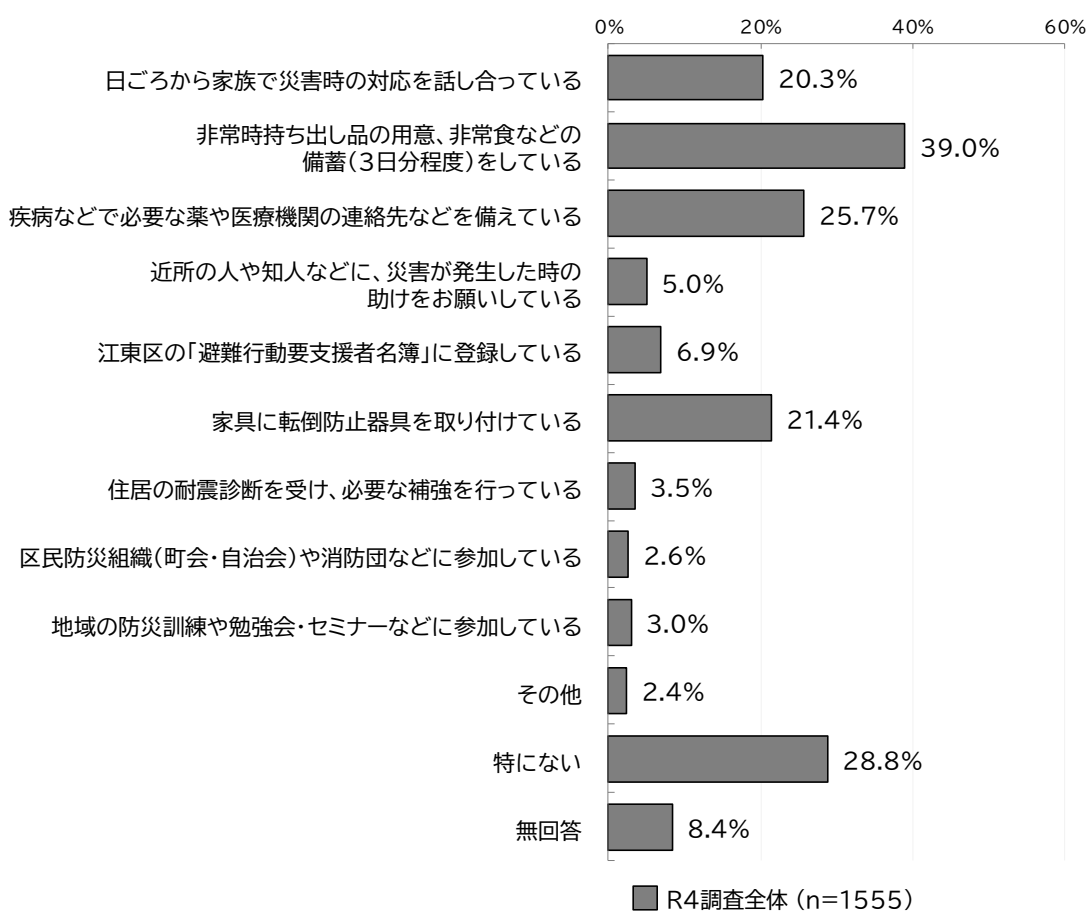
<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



問. あなた(ご本人)は、災害に対してどのような備えをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

### <障害者調査 問36>

災害に対してどのような備えをしているかについて、令和4年調査全体では「非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄(3日分程度)をしている」が39.0%と最も高く、次いで「特にない」が28.8%、「疾病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」が25.7%となっています。



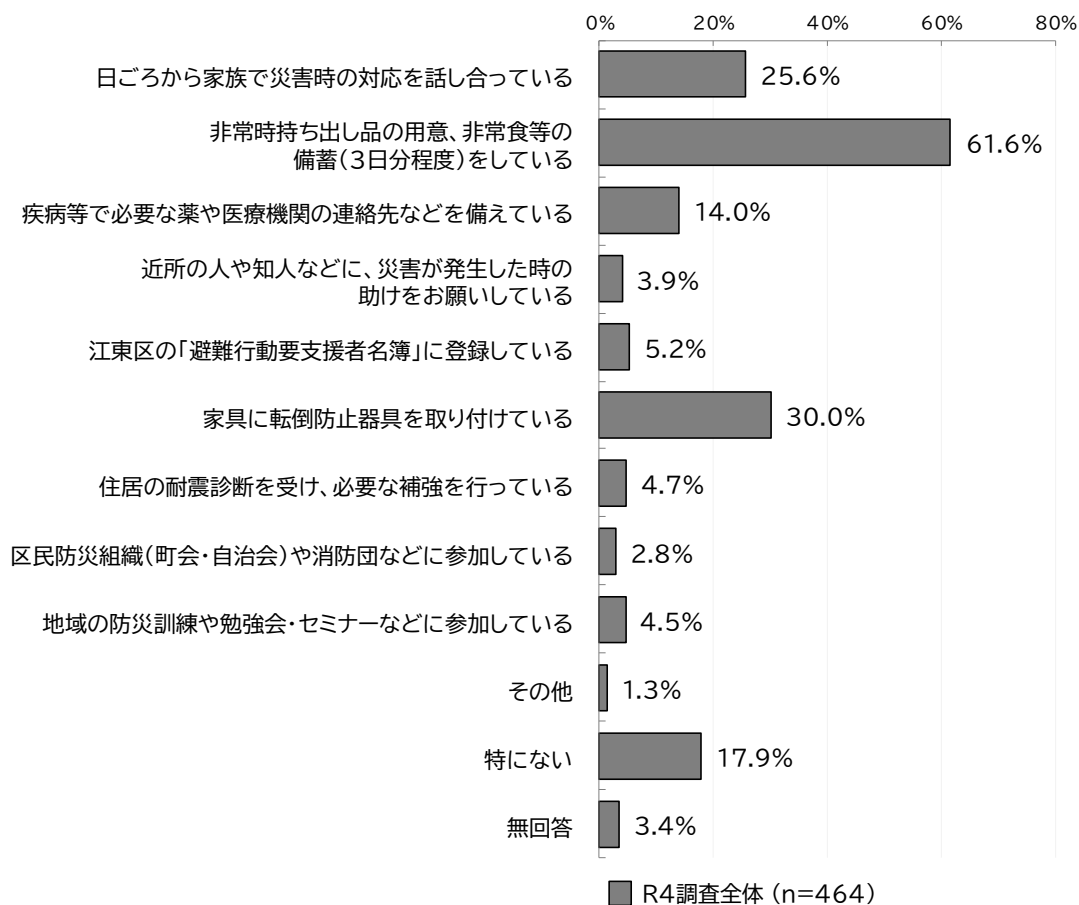
障害種別ごとにとみると、難病で「疾病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」が36.6%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにとみると、75歳以上で「家具に転倒防止器具を取り付けている」が32.2%と他の年齢と比較して高くなっています。

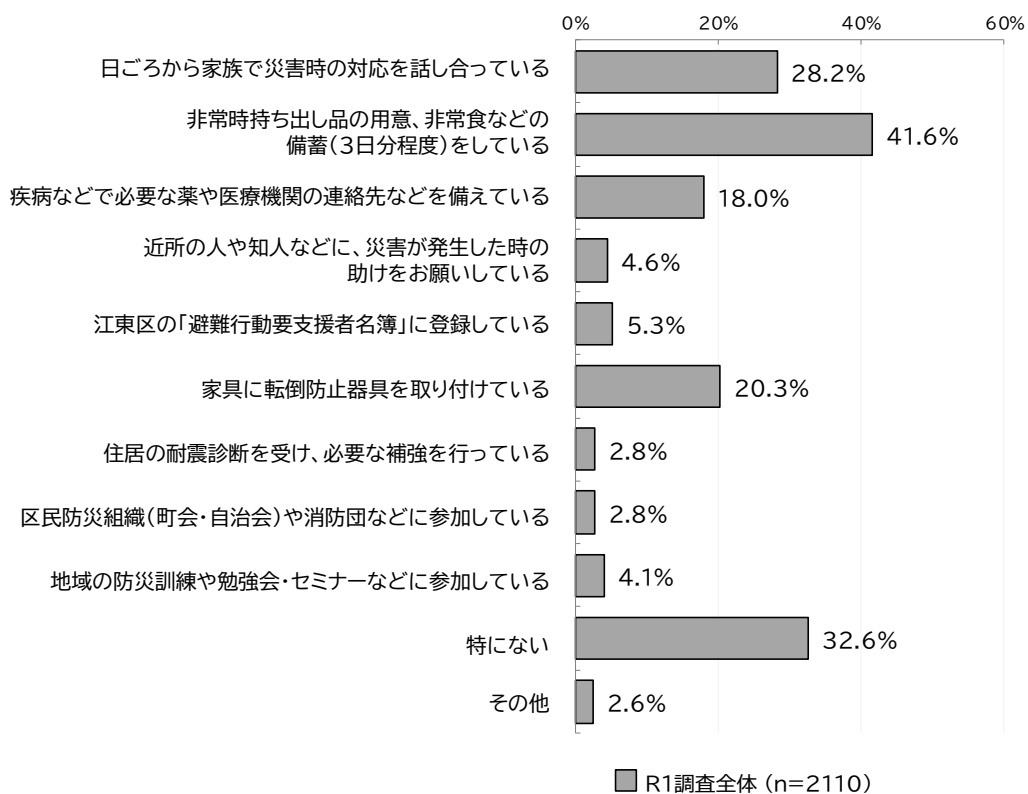
1段目 人 2段目 %	合計	問36.災害に対する備え												
		日ごろから家族で災害時の対応を話し合っている	非常時の持ち出し品の用意、非常食などの備蓄(3日分程度)をしている	疾病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	近所の人や知人などに、災害が発生した時の助けをお願いしている	江東区の一避難行動要支援者名簿に登録している	家具に転倒防止器具を取り付けている	住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている	防団などに参加している	区民防災組織(町会・自治会)や消防団などに参加している	地域の防災訓練や勉強会・セミナーなどに参加している	その他	特になし	無回答
障害種別	身体障害	616 100.0%	128 20.8	256 41.6	161 26.1	42 6.8	70 11.4	153 24.8	28 4.5	25 4.1	32 5.2	17 2.8	165 26.8	56 9.1
	知的障害	301 100.0%	63 20.9	102 33.9	51 16.9	25 8.3	41 13.6	53 17.6	10 3.3	7 2.3	12 4.0	9 3.0	97 32.2	31 10.3
	精神障害	385 100.0%	59 15.3	128 33.2	85 22.1	7 1.8	9 2.3	62 16.1	10 2.6	9 2.3	2 0.5	9 2.3	137 35.6	25 6.5
	難病	454 100.0%	104 22.9	197 43.4	166 36.6	16 3.5	22 4.8	118 26.0	12 2.6	8 1.8	12 2.6	11 2.4	108 23.8	30 6.6
	発達障害	92 100.0%	16 17.4	31 33.7	12 13.0	0 0.0	8 8.7	13 14.1	1 1.1	0 0.0	1 1.1	3 3.3	3 33.7	5 5.4
	高次脳機能障害	90 100.0%	17 18.9	31 34.4	22 24.4	8 8.9	8 8.9	25 27.8	5 5.6	3 3.3	4 4.4	2 2.2	18 20.0	12 13.3
	年齢別	18~39歳	311 100.0%	68 21.9	132 42.4	76 24.4	10 3.2	40 12.9	62 19.9	10 3.2	4 1.3	9 2.9	5 1.6	94 30.2
40~64歳		661 100.0%	137 20.7	260 39.3	162 24.5	30 4.5	31 4.7	141 21.3	24 3.6	13 2.0	10 1.5	18 2.7	196 29.7	42 6.4
65~74歳		301 100.0%	51 16.9	111 36.9	86 28.6	13 4.3	15 5.0	47 15.6	9 3.0	17 5.6	12 4.0	5 1.7	96 31.9	23 7.6
75歳以上		258 100.0%	56 21.7	95 36.8	73 28.3	24 9.3	21 8.1	83 32.2	10 3.9	7 2.7	14 5.4	8 3.1	60 23.3	36 14.0

### <障害児調査 問31>

災害に対してどのような備えをしているかについて、令和4年調査全体では「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)をしている」が61.6%と最も高く、次いで「家具に転倒防止器具を取り付けている」が30.0%、「日ごろから家族で災害時の対応を話し合っている」が25.6%となっています。



<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



## 8 障害者施策について

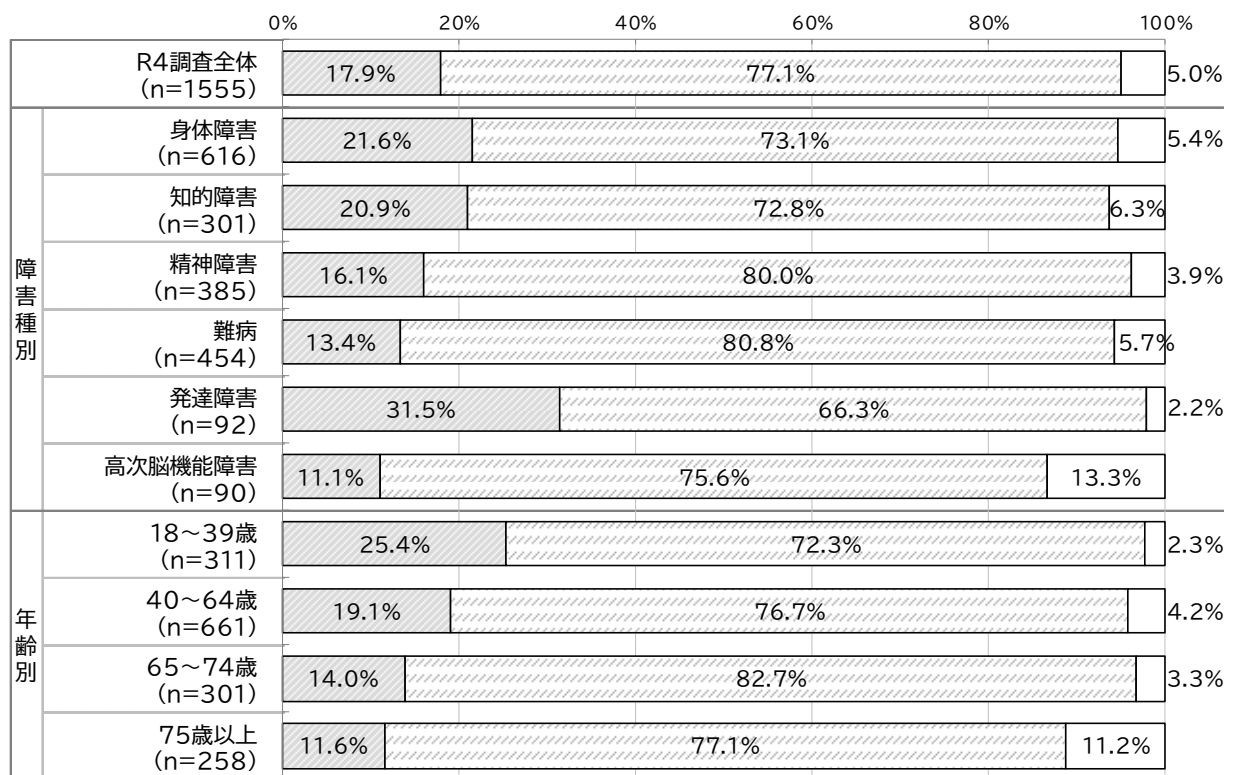
問.「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)が施行されました。このことを知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### <障害者調査 問37>

「障害者差別解消法」の施行を知っていたかについて、令和4年調査全体では「知らなかった」が77.1%、「知っていた」が17.9%となっています。

障害種別ごとにみると、「知っていた」は発達障害で31.5%と他の障害種別と比較して高くなっています。

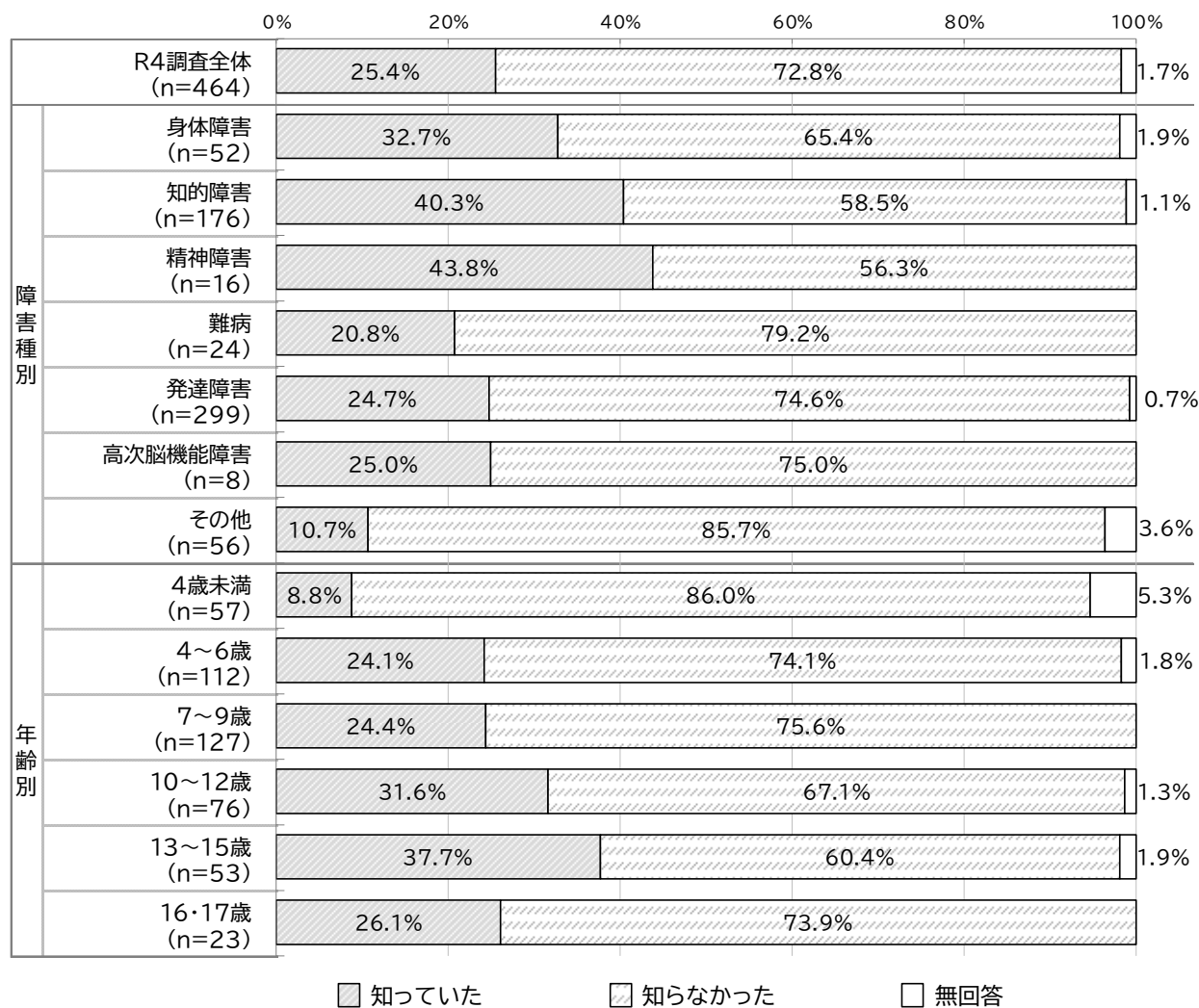
年齢ごとにみると、「知っていた」は18～39歳で25.4%と他の年齢と比較して高めとなっており、若い年齢ほど認知率が高くなっています。



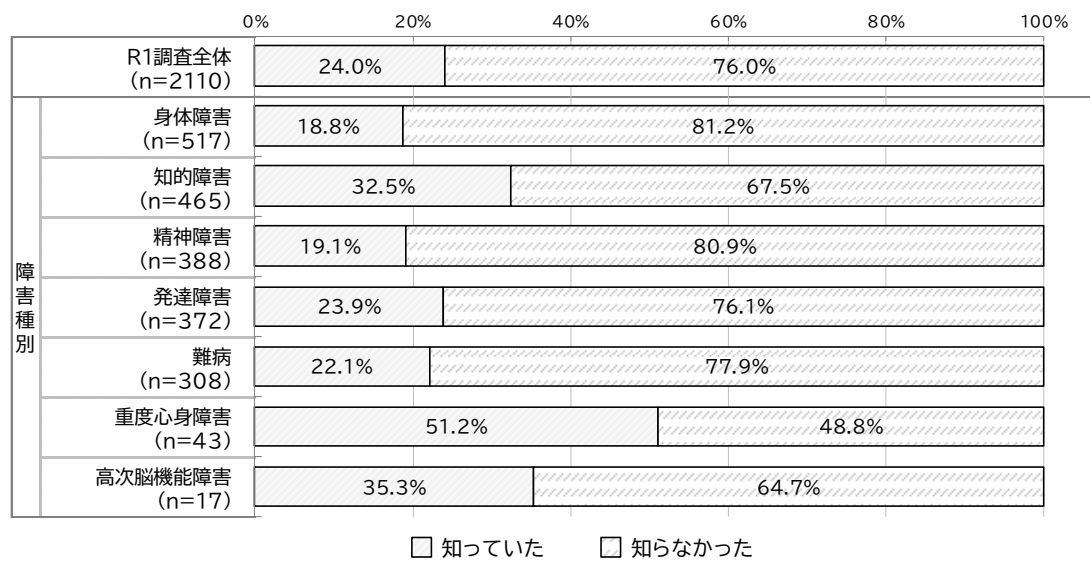
■ 知っていた    ■ 知らなかった    □ 無回答

### <障害児調査 問32>

「障害者差別解消法」の施行を知っていたかについて、令和4年調査全体では「知らなかった」が72.8%、「知っていた」が25.4%となっています。



<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>





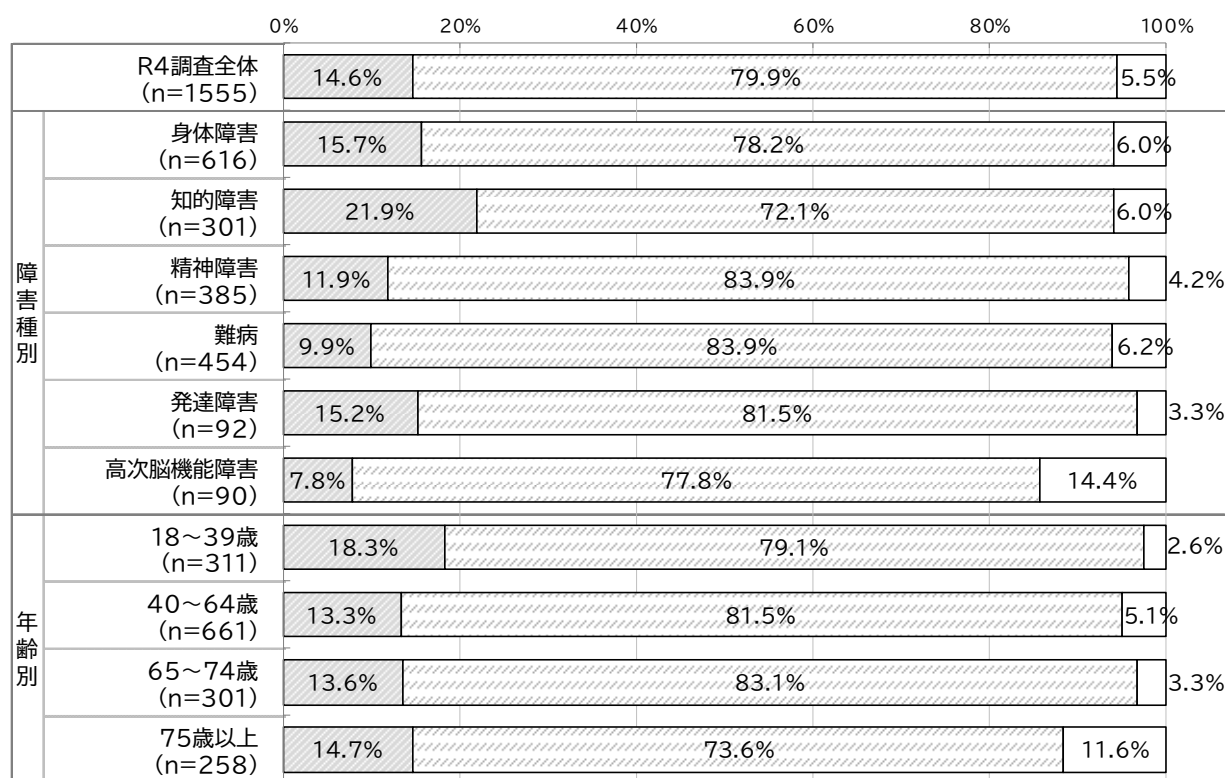
問. 区では、「障害者虐待防止センター」を障害者支援課の中に設置し、虐待の通報受付や、虐待防止のための相談などを行っています。このことを知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### <障害者調査 問38>

「障害者虐待防止センター」について知っていたかは、令和4年調査全体では「知らなかった」が79.9%、「知っていた」が14.6%となっています。

障害種別ごとにとみると、「知っていた」は知的障害で21.9%と他の障害種別と比較して高めとなっています。

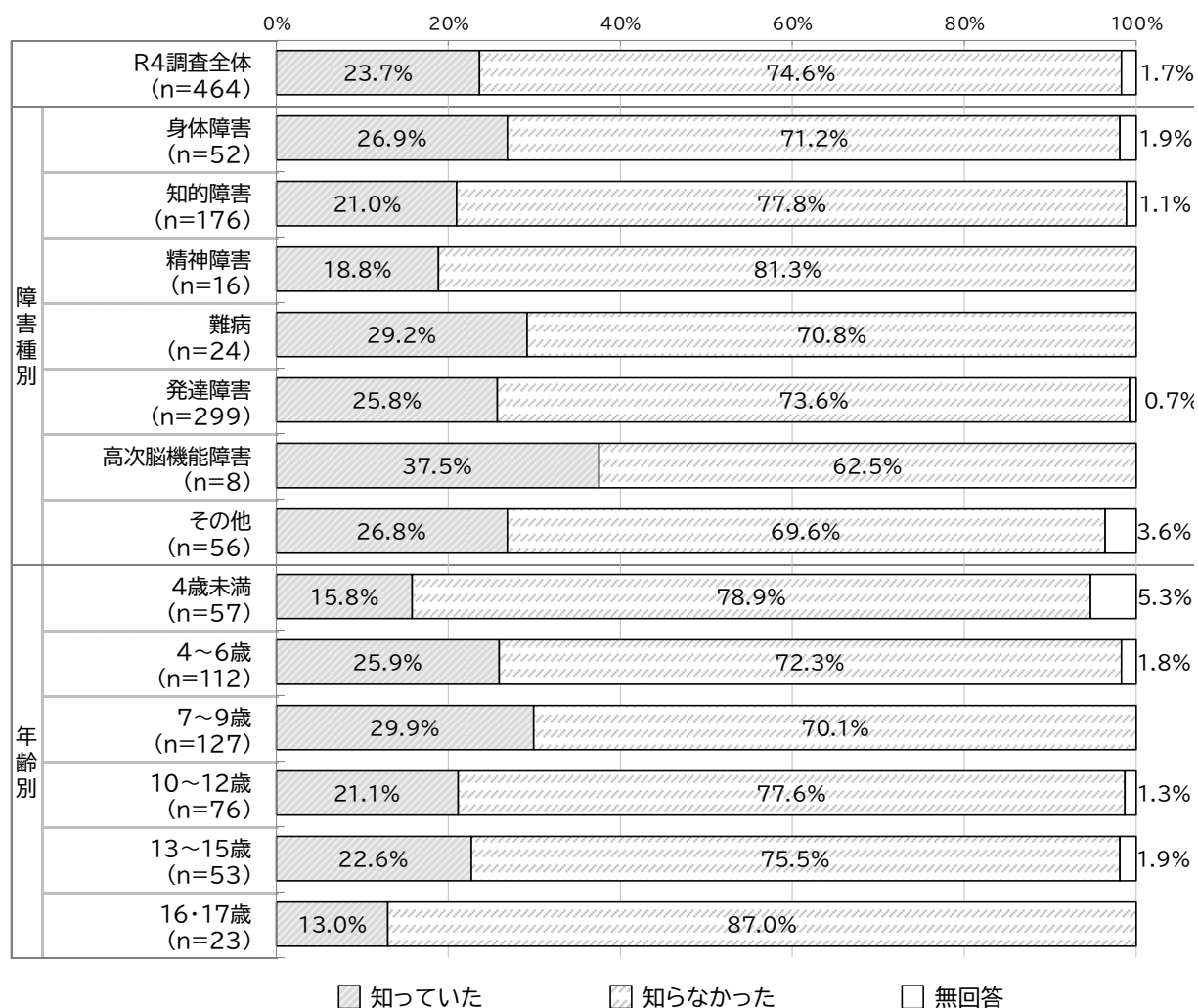
年齢ごとにとみると、「知っていた」は18～39歳で18.3%と他の年齢と比較してやや高めとなっています。



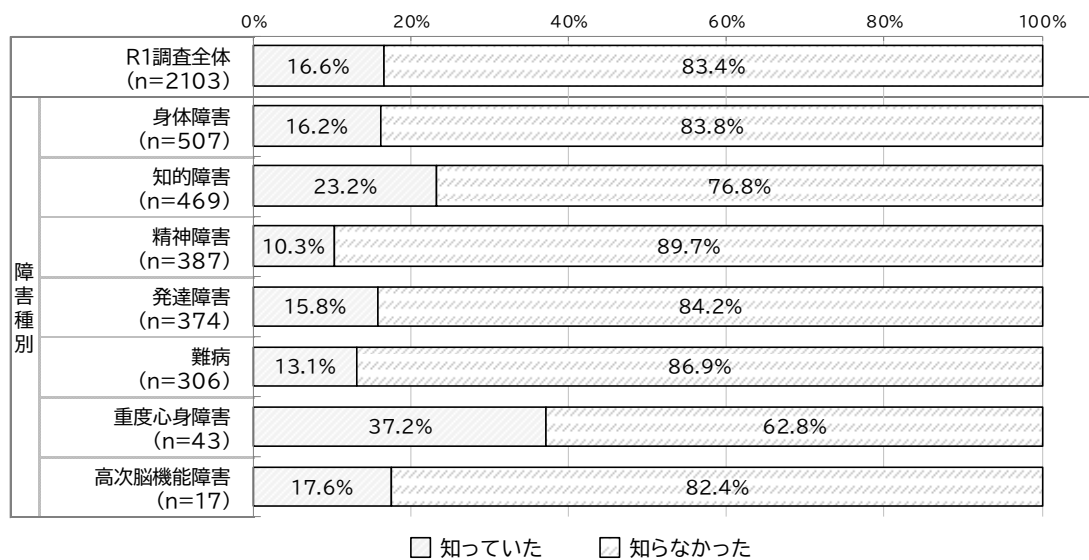
■ 知っていた   ■ 知らなかった   □ 無回答

### <障害児調査 問33>

「障害者虐待防止センター」について知っていたかは、令和4年調査全体では「知らなかった」が74.6%、「知っていた」が23.7%となっています。



<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



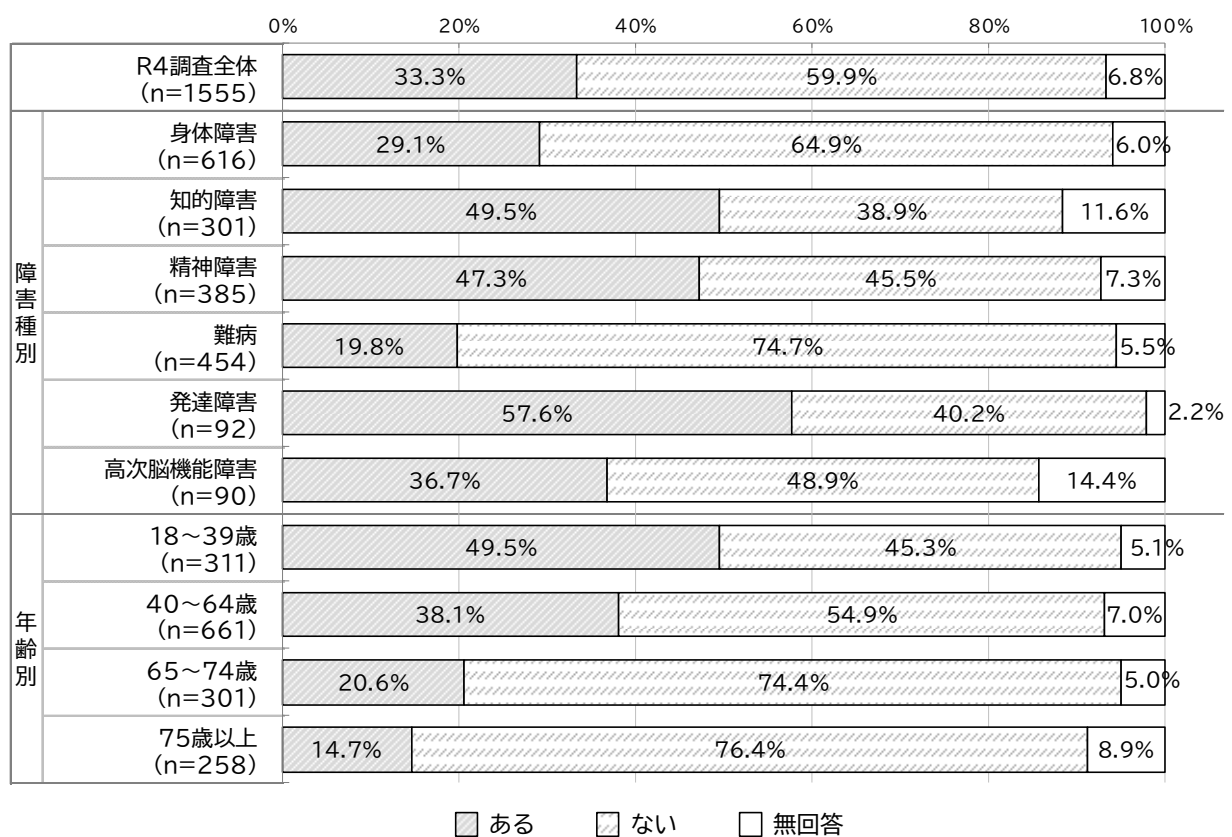
問. あなた(ご本人)は、これまでに差別をされたと感じた経験はありますか。あてはまるもの  
1つに○をつけてください。

<障害者調査 問39>

差別されたと感じた経験について、令和4年調査全体では「ない」が59.9%、「ある」が33.3%となっています。

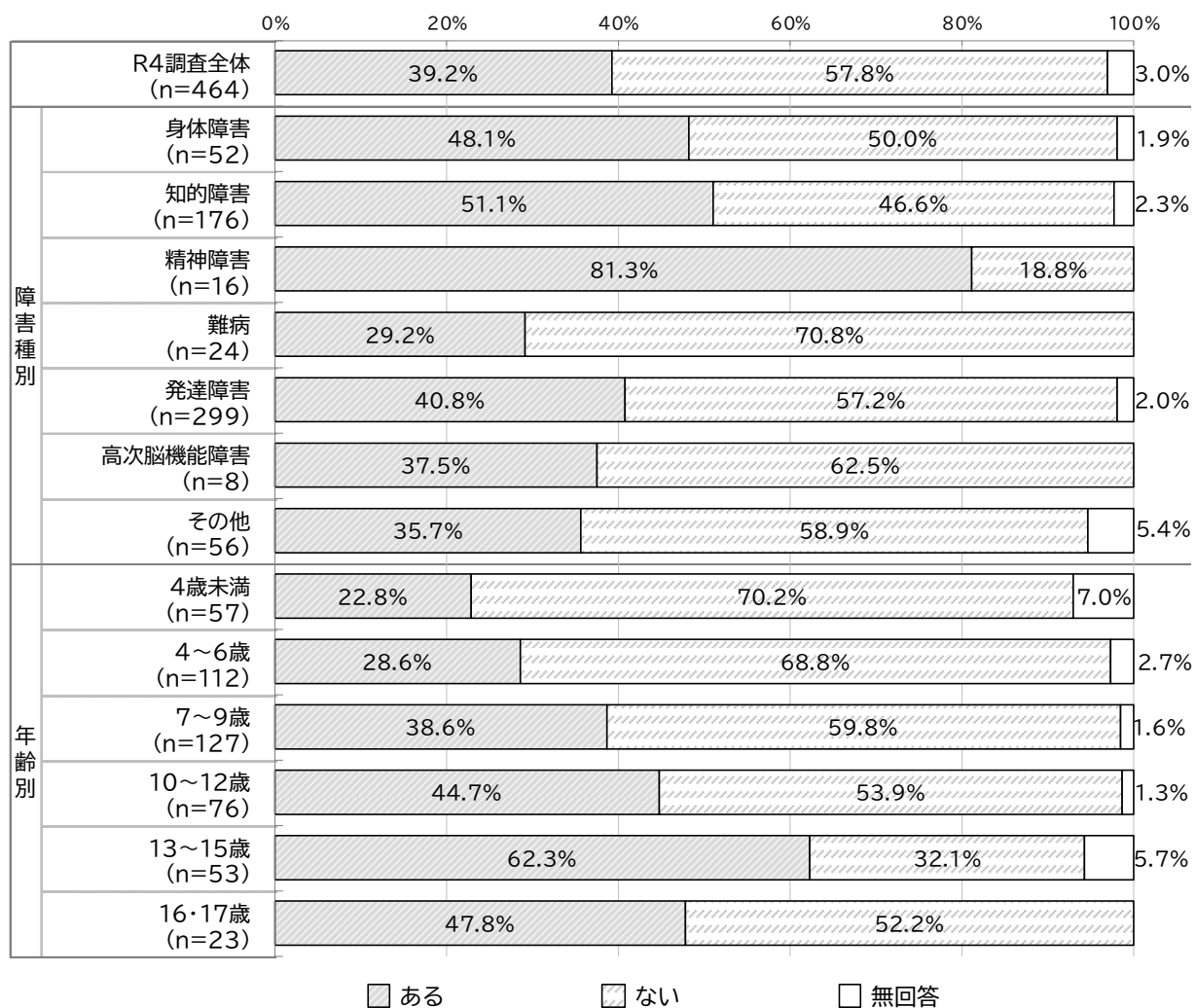
障害種別ごとにみると、「ある」は発達障害で57.6%と他の障害種別と比較して高くなっています。一方、「ない」は難病で74.7%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、「ある」は18～39歳で49.5%と他の年齢と比較して高くなっており、若い年齢ほど経験率が高くなっています。

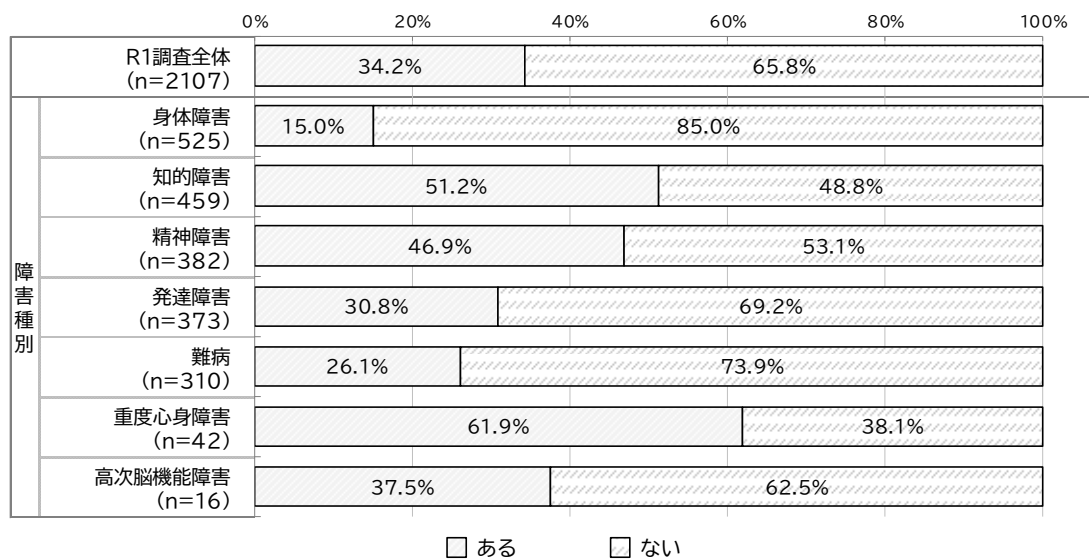


### <障害児調査 問34>

差別されたと感じた経験について、令和4年調査全体では「ない」が57.8%、「ある」が39.2%となっています。



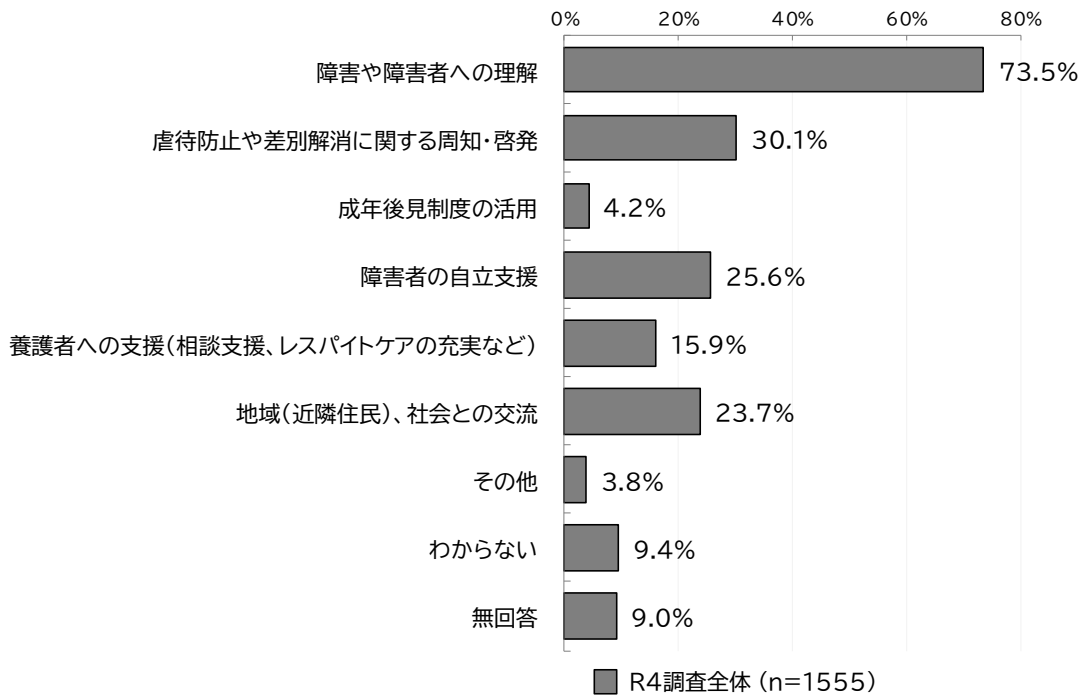
<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



問. 障害者への虐待や差別を防ぐには、何が必要だと思いますか。あてはまるもの3つまでに  
○をつけてください。

#### <障害者調査 問40>

障害者への虐待や差別を防ぐために必要なことについて、令和4年調査全体では「障害や障害者への理解」が73.5%と最も高く、次いで「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」が30.1%、「障害者の自立支援」が25.6%となっています。



障害種別ごとにとみると、発達障害で「障害や障害者への理解」が80.4%と他の障害種別と比較して高くなっています。

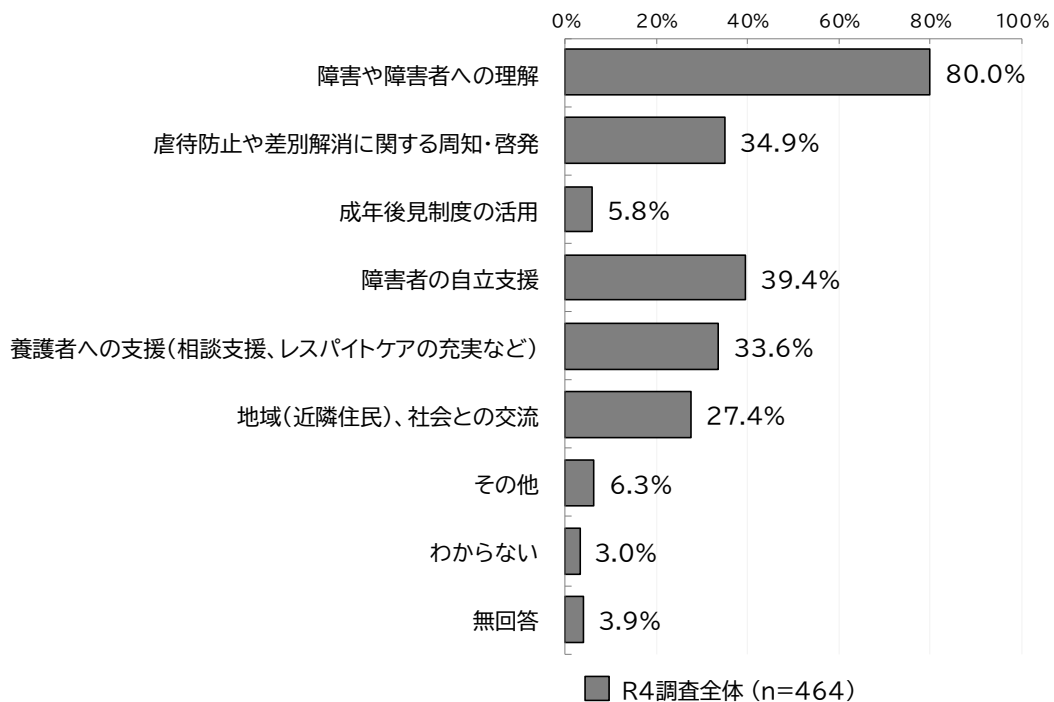
年齢ごとにとみると、18～39歳で「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」が37.6%と他の年齢と比較して高くなっています。また、75歳以上で「地域(近隣住民)、社会との交流」が31.4%と他の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %		合計	問40.障害者への虐待や差別を防ぐのに必要なこと								
			障害や障害者への理解	虐待防止や差別解消に関する周知・啓発	成年後見制度の活用	障害者の自立支援	養護者へのサポート(相談支援、レスパイトケアの充実など)	交流(近隣住民)、社会との	その他	わからない	無回答
障害種別	身体障害	616 100.0%	449 72.9	170 27.6	17 2.8	142 23.1	106 17.2	163 26.5	19 3.1	62 10.1	57 9.3
	知的障害	301 100.0%	225 74.8	81 26.9	18 6.0	68 22.6	78 25.9	91 30.2	7 2.3	28 9.3	24 8.0
	精神障害	385 100.0%	280 72.7	115 29.9	17 4.4	130 33.8	50 13.0	65 16.9	21 5.5	37 9.6	37 9.6
	難病	454 100.0%	327 72.0	151 33.3	17 3.7	95 20.9	73 16.1	91 20.0	17 3.7	39 8.6	44 9.7
	発達障害	92 100.0%	74 80.4	30 32.6	6 6.5	27 29.3	18 19.6	21 22.8	6 6.5	8 8.7	4 4.3
	高次脳機能障害	90 100.0%	60 66.7	18 20.0	6 6.7	29 32.2	12 13.3	20 22.2	3 3.3	8 8.9	12 13.3
年齢別	18～39歳	311 100.0%	250 80.4	117 37.6	22 7.1	94 30.2	63 20.3	72 23.2	17 5.5	18 5.8	13 4.2
	40～64歳	661 100.0%	504 76.2	207 31.3	25 3.8	171 25.9	102 15.4	133 20.1	28 4.2	62 9.4	52 7.9
	65～74歳	301 100.0%	205 68.1	76 25.2	9 3.0	80 26.6	39 13.0	77 25.6	11 3.7	32 10.6	35 11.6
	75歳以上	258 100.0%	170 65.9	63 24.4	8 3.1	49 19.0	44 17.1	81 31.4	2 0.8	30 11.6	37 14.3

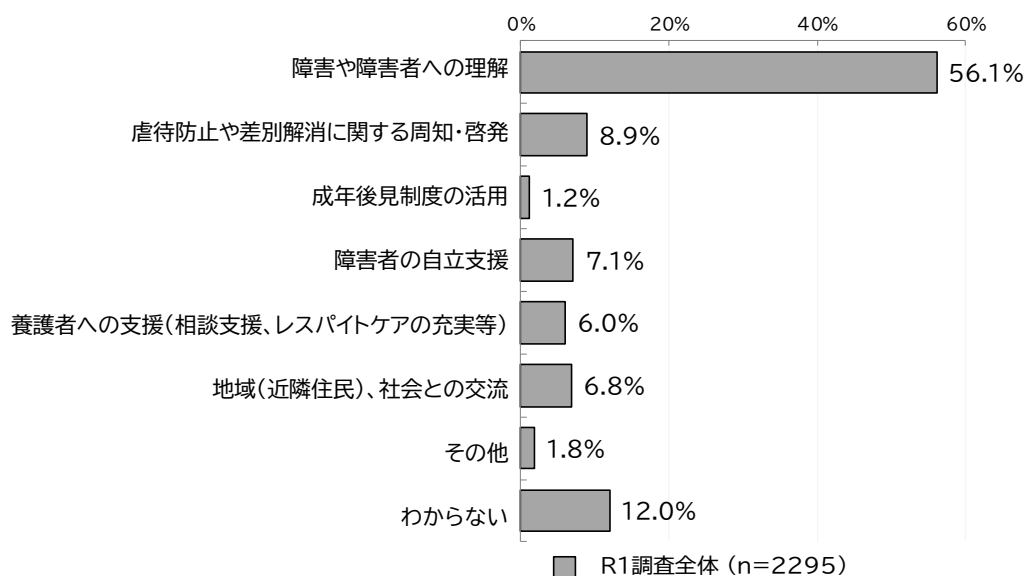


### <障害児調査 問35>

障害者への虐待や差別を防ぐために必要なことについて、令和4年調査全体では「障害や障害者への理解」が80.0%と最も高く、次いで「障害者の自立支援」が39.4%、「虐待防止や差別解消に関する周知・啓発」が34.9%、「養護者への支援(相談支援、レスパイトケアの充実など)」が33.6%となっています。



### <参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



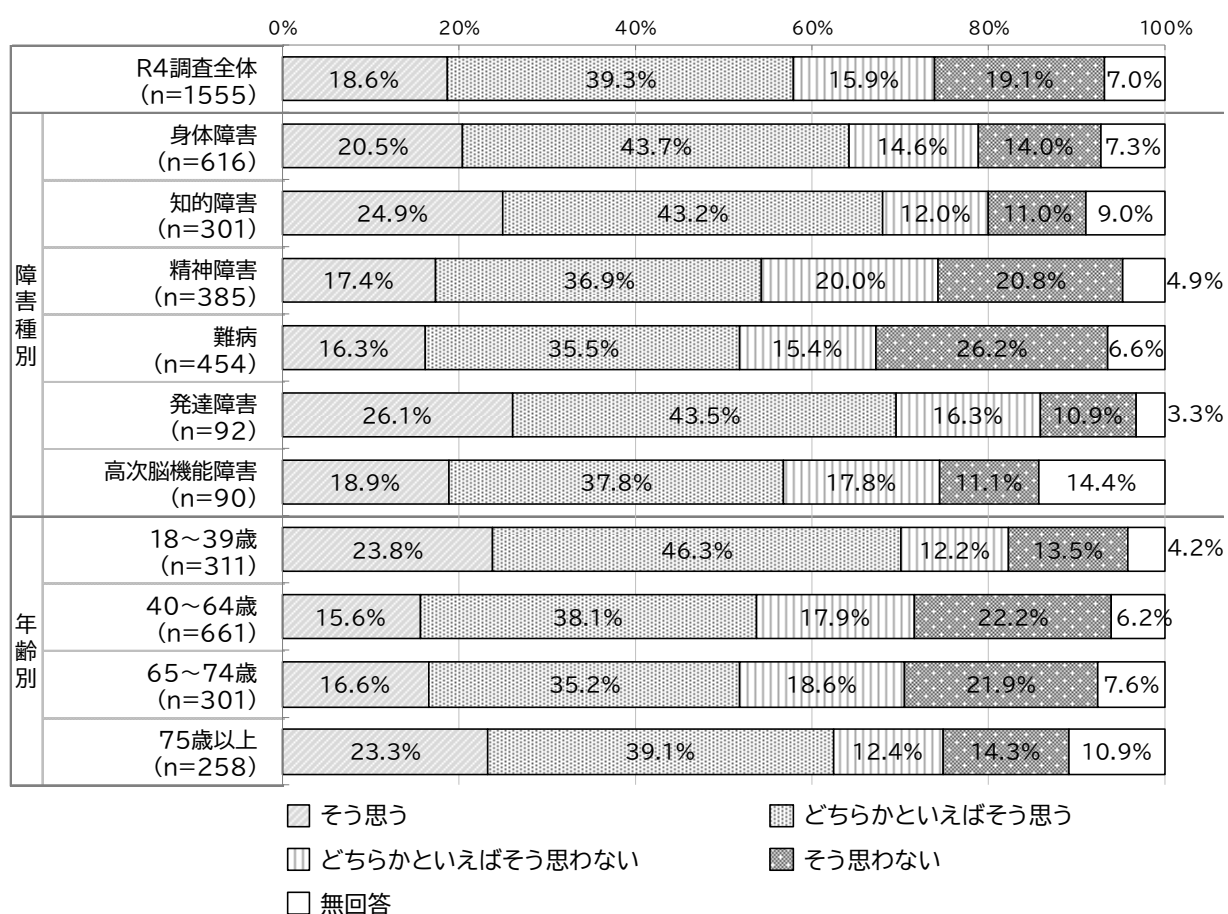
問. あなた(ご本人)は、日常生活の中で周囲から配慮されていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### <障害者調査 問41>

日常生活の中で周囲から配慮されていると思うかについて、令和4年調査全体では「どちらかといえばそう思う」が39.3%と最も高く、次いで「そう思わない」が19.1%、「そう思う」が18.6%となっています。

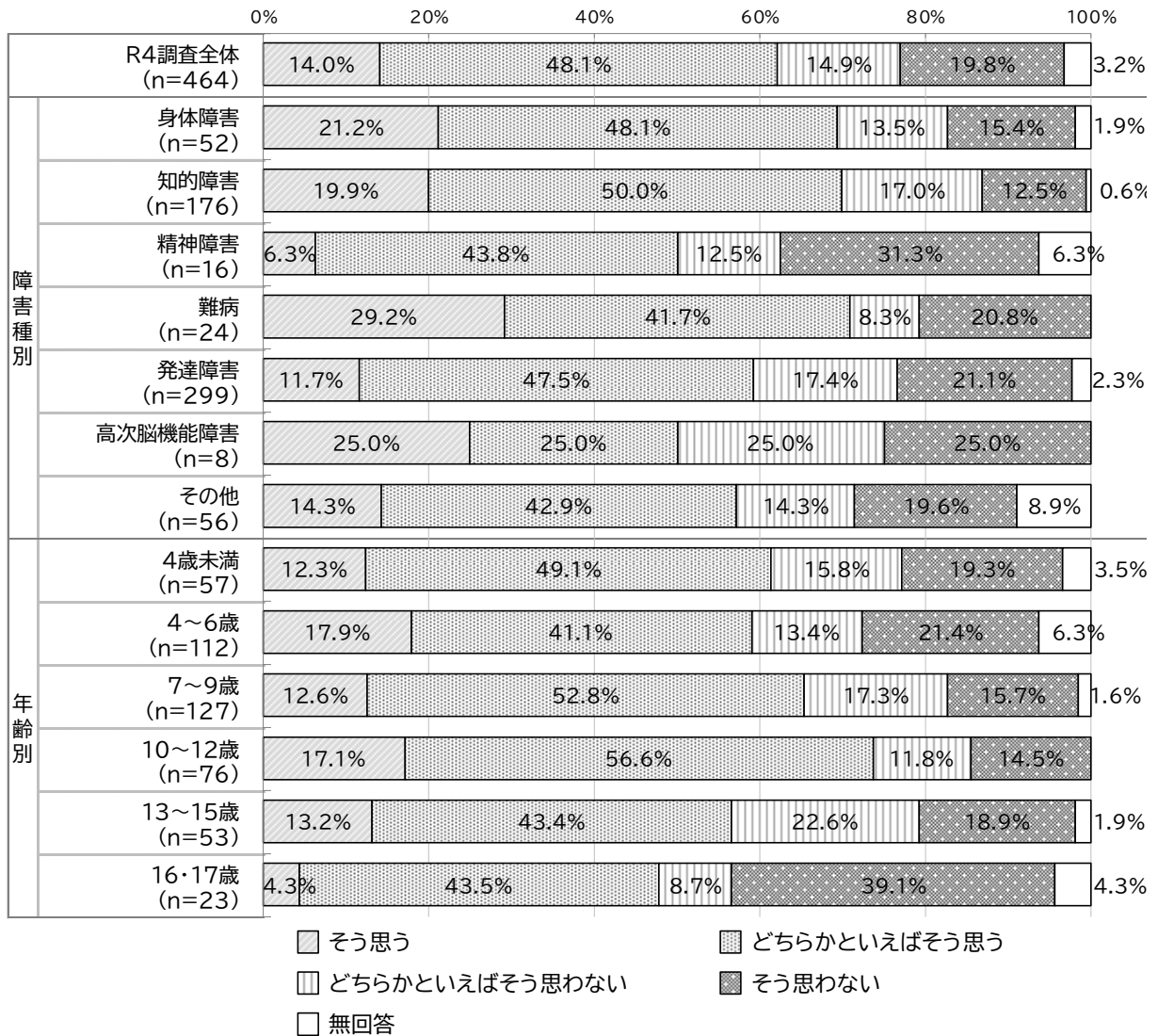
障害種別ごとにみると、「そう思わない」が難病で26.2%と他の障害種別と比較して高くなっており、精神障害も20.8%と高めとなっています。

年齢ごとにみると、18～39歳で「どちらかといえばそう思う」が46.3%と他の年齢と比較して高くなっています。



## <障害児調査 問36>

日常生活の中で周囲から配慮されていると思うかについて、令和4年調査全体では「どちらかといえばそう思う」が48.1%と最も高く、次いで「そう思わない」が19.8%、「どちらかといえばそう思わない」が14.9%となっています。



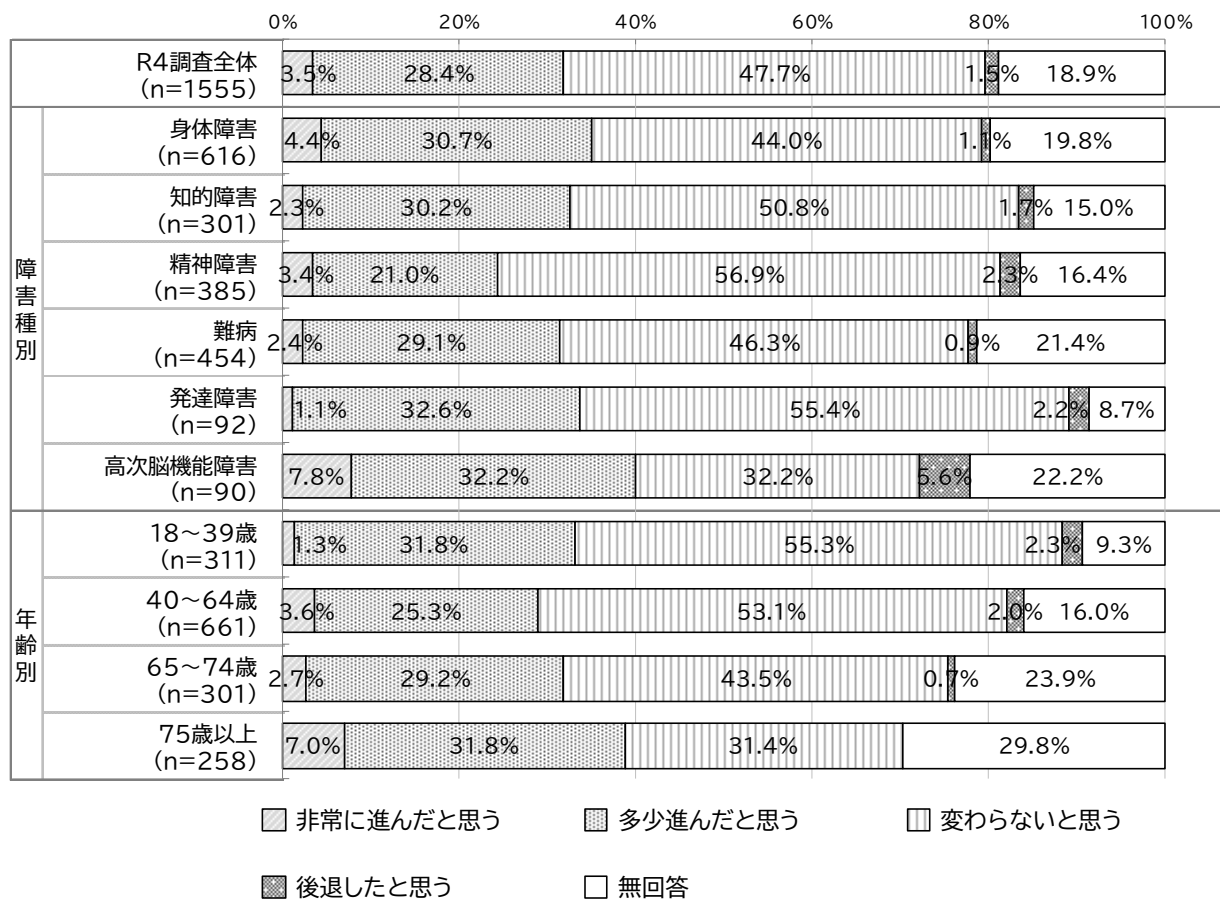
問. 江東区では、3年ごとに「江東区障害者計画、江東区障害福祉計画・障害児福祉計画」の策定や見直しをしています。前回は、令和2年度に「江東区障害福祉計画・障害児福祉計画」を策定しました。次回は、令和5年度に「江東区障害者計画、江東区障害福祉計画・障害児福祉計画」の策定を予定しています。そこでお聞きします。3年前と比べて、江東区の障害者施策は充実したと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### <障害者調査 問42>

3年前と比べて江東区の障害者施策は充実したと思うかについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「変わらないと思う」が47.7%と最も高く、次いで「多少進んだと思う」が28.4%、「非常に進んだと思う」が3.5%となっています。

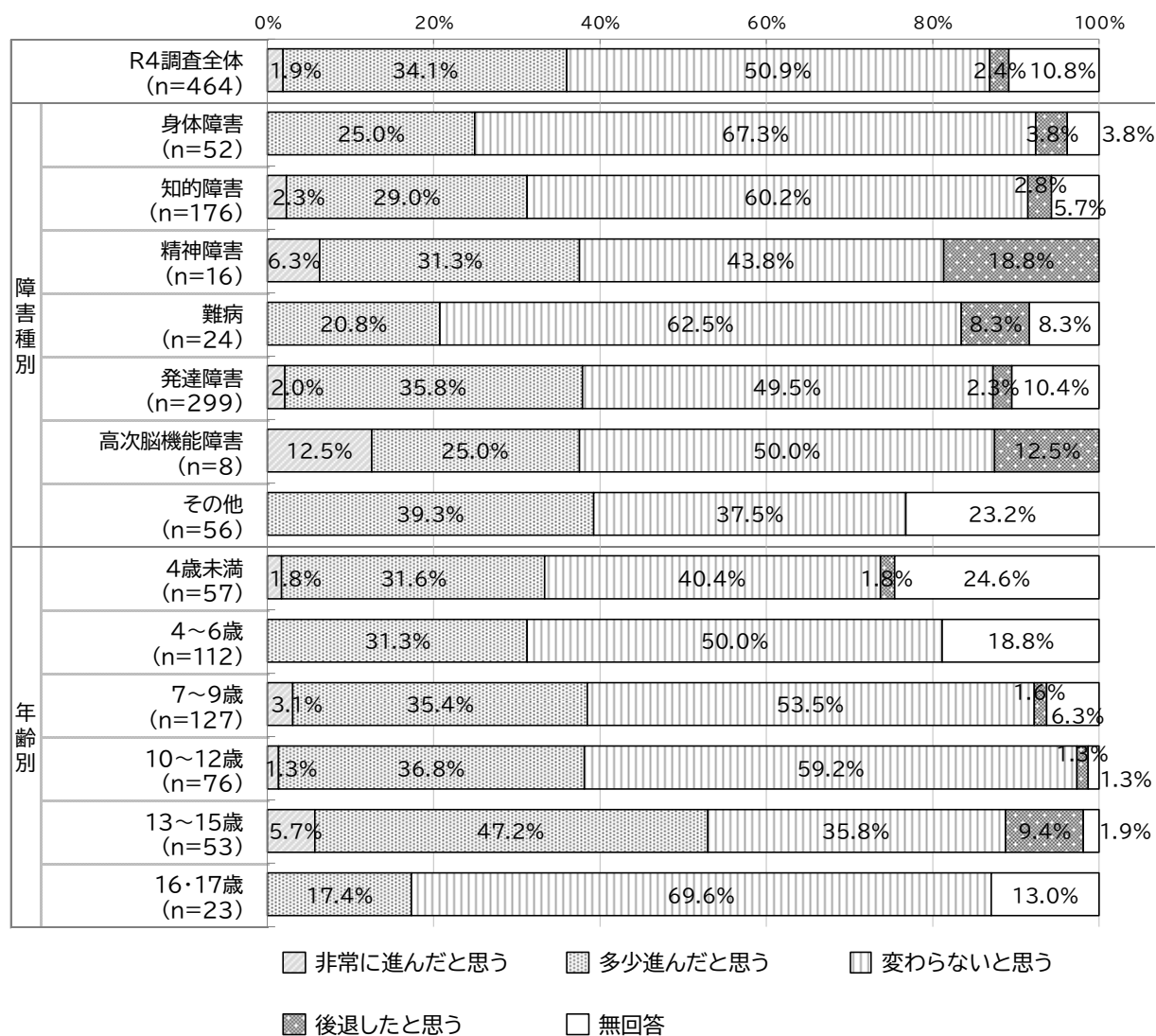
障害種別ごとにみると、「変わらないと思う」が精神障害で56.9%、発達障害で55.4%と他の障害種別と比較して高めになっています。また、高次脳機能障害で「非常に進んだと思う」が7.8%と他の障害種別と比較して高めになっています。

年齢ごとにみると、75歳以上で「非常に進んだと思う」が7.0%と他の年齢と比較してやや高めとなっています。また、「変わらないと思う」は若い年齢ほど高くなっており、18～39歳で55.3%となっています。



### <障害児調査 問37>

3年前と比べて江東区の障害者施策は充実したと思うかについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「変わらないと思う」が50.9%と最も高く、次いで「多少進んだと思う」が34.1%、「後退したと思う」が2.4%となっています。



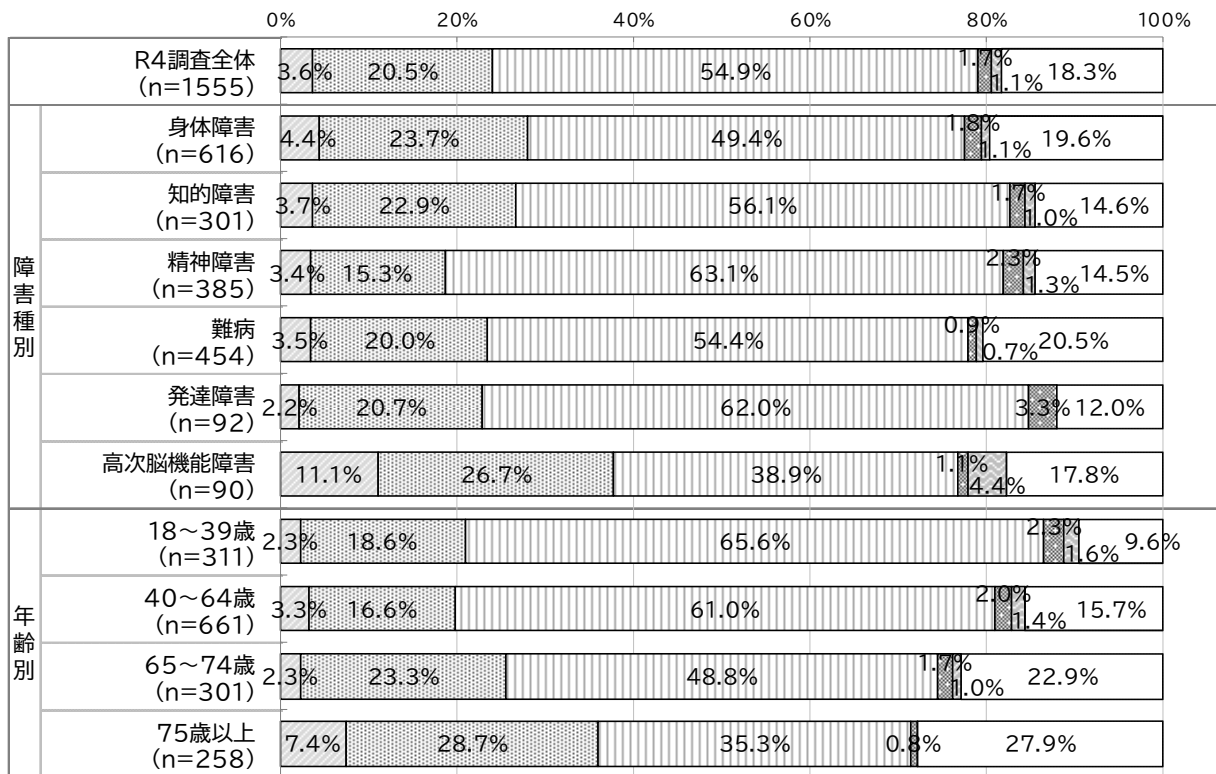
問. 江東区の福祉サービスは、3年ほど前(令和元年頃)と比べて、変化していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

<障害者調査 問43>

3年前と比べて江東区の福祉サービスは変化したと思うかについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「どちらともいえない」が54.9%と最も高く、次いで「少し良くなったと思う」が20.5%、「かなり良くなったと思う」が3.6%となっています。

障害種別ごとにみると、高次脳機能障害で「かなり良くなったと思う」が11.1%と他の障害種別と比較して高くなっています。一方、「どちらともいえない」は精神障害が63.1%、発達障害が62.0%で他の障害種別と比較して高くなっています。

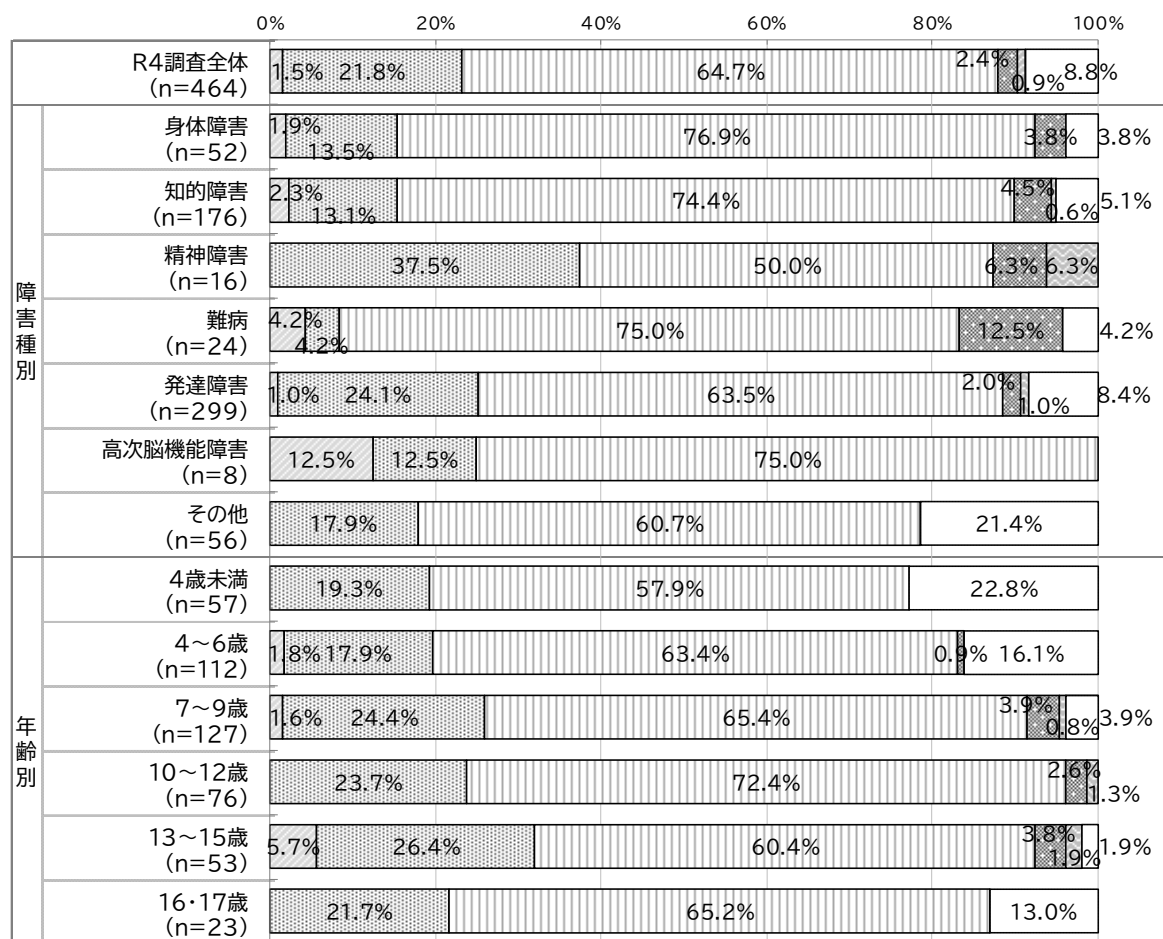
年齢ごとにみると、75歳以上で「少し良くなったと思う」が28.7%と他の年齢と比較して高く、「かなり良くなったと思う」も7.4%と高めになっています。



- かなり良くなったと思う    □ 少し良くなったと思う    □ どちらともいえない
- 少し低下したと思う    □ かなり低下したと思う    □ 無回答

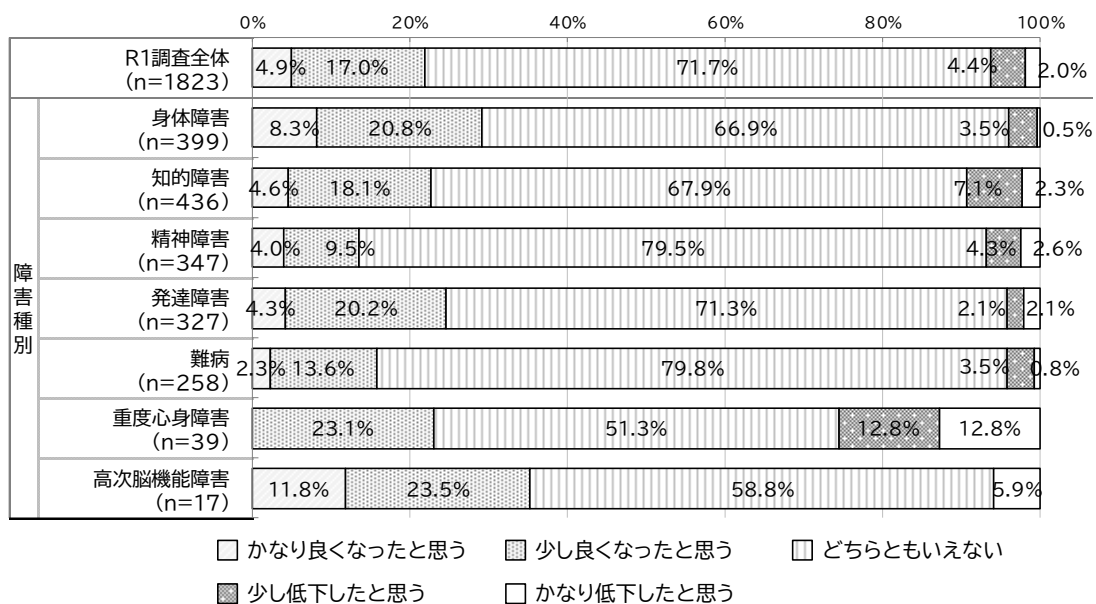
### <障害児調査 問38>

3年前と比べて江東区の福祉サービスは変化したと思うかについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「どちらともいえない」が64.7%と最も高く、次いで「少し良くなったと思う」が21.8%となっています。



かなり良くなったと思う
  少し良くなったと思う
  どちらともいえない  
 少し低下したと思う
  かなり低下したと思う
  無回答

<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>





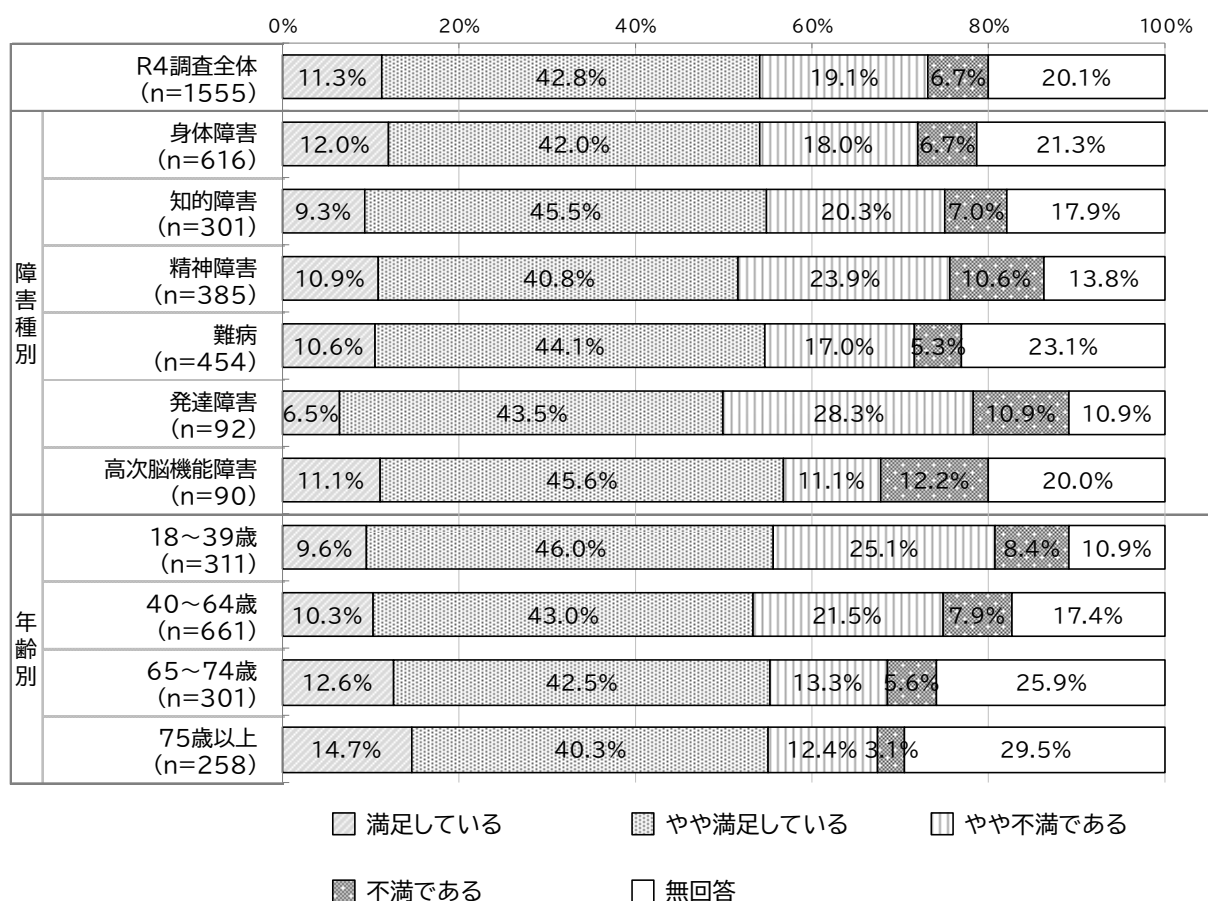
問. あなた(ご本人)は、障害者支援施策に満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### <障害者調査 問44>

障害者支援施策の満足度について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「やや満足している」が42.8%と最も高く、次いで「やや不満である」が19.1%、「満足している」が11.3%となっています。

障害種別ごとにとみると、「やや不満である」が発達障害で28.3%、精神障害で23.9%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにとみると、18～39歳で「やや不満である」が25.1%と他の年齢と比較して高めになっています。



## <障害児調査 問39>

障害者支援施策の満足度について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「やや満足している」が47.6%と最も高く、次いで「やや不満である」が28.7%となっています。

